

1947**Top Secret Documents on the China Situation****Citation:**

"Top Secret Documents on the China Situation", 1947, Wilson Center Digital Archive, National Archives and Records Administration, Record Group 242, National Archives Collection of Foreign Records Seized, 1941-, Records Seized by U.S. Military Forces in Korea, Shipping Advice 2006, Item 11/36. Obtained by Charles Kraus.
<https://wilson-center.drivingcreative.com/document/116526>

Summary:

North Korean intelligence on events in the Chinese Civil War.

Original Language:

Korean

Contents:

Original Scan

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

1224

비극



元四年度

중공관계

16.8

외무성



No. 13-2

대수 113

19 49년 7월 22일

1947. 6.22	新解放区中苏两国军事情报	1 — 15
6.15	新解放区中苏两国军事情报	16 — 20
6.17	新解放区中苏两国军事情报	21 — 31
6.18	新解放区中苏两国军事情报	32 — 46
6.27	新解放区中苏两国军事情报	47 — 55
6.28	新解放区中苏两国军事情报	56 — 72
6.30	新解放区中苏两国军事情报	73 — 82
7.4	中苏两国同盟条约	83 — 99
8.7	东北解放	100 — 103
8.1	东北解放	104 — 115

北朝鮮人民委員會外務局

1947. 6.22	新解放区 中央人民政府接管材料	1 — 15
" 5.15	解放战争时期 新解放区 中央	16 — 20
" 6.17	中央对解放区 经济政策 党外	21 — 31
" 6.18	中央对解放区 经济政策 党外	32 — 46
" 6.27	中央对解放区 经济政策 党外	47 — 55
" 6.28	中央对解放区 经济政策 党外	56 — 72
" 6.30	中央对解放区 经济政策 党外	73 — 82
" 7.4	中央对解放区 经济政策 党外	83 — 99
" 8.9	中央对解放区 经济政策 党外	100 — 103
" 8.1	中央对解放区 经济政策 党外	104 — 115

機密

局長

一九四七年九月二十二日

中國人民解放戰爭資料集

北朝鮮人民委員會外務部

東亞部 崔

北朝鮮人民委員會外務局

全國總軍(中央軍)戰鬥序列表
一九四一、一四調製

陸軍總司令部
總司令 顧祝同
副總司令 湯恩伯、沈鴻烈

東北行營 熊式輝

東北保安司令部長官部
(杜聿明)

九軍新軍

新久實

五十三

五三

10

九

直

北平行營李案仁

为十一战区（豫南）

四集田軍（李興中）

三軍 龍 府 戊 (平遠北渡)
 二軍 魯 宗 又 (平遠北渡)
 四軍 李 振 濟 (右河)

四庫全書

北朝鮮人民委員會外務局

三才集圖 李 文

九三軍（候補）
九四軍（候補）

茅王成區
傅作義

晉繡迎區 (邓宝珊)

三軍(五世兄)陳繼刃
又七軍(何文鼎)隆縣

東北捷集軍 燕京(山)

魯英韻 (惺緩附近)

武漢行營(程潛)

第一編 卷一
周
吳

之文事
 朱瑞阿
 之武軍
 柳稼明
 (鄂北)
 (〃)

第七緩靖區
王陵墓

十集團軍 歐 震

九
九軍
梁漢民
蘇北

三集田軍 李玉堂

三軍
主軍
傳馬
驥
翼
鄂
陳

武漢警備總司令部 郭誠三調任參謀長十八軍 (胡璉) (蘇魯豫邊)

廣州行營
張慶奎

四本軍
五四軍
葉練成
周漢壽
郭豫迎
膠州東段

文三軍
文四軍
張弘
廣東

徐廿緩署 薛 岳

第廿緩署 湯恩伯已調任豫軍司令部

十九集團軍 張雪中

三軍 (劉湘部) (豫北)
五軍 (王陵基) (豫北)
九軍 (王陵基) (豫北)
二軍 (王陵基) (豫北)
四軍 (王陵基) (豫北)
六軍 (王陵基) (豫北)

第三緩署 王輝武

二十集團軍 夏楚中

第三緩署 (馬治宇)

第八緩署 (夏成)

三集團軍 (李熙 荃)

八軍 (李熙 荃) (豫北)
九軍 (李熙 荃) (豫北)
七軍 (李熙 荃) (豫北)
六軍 (李熙 荃) (豫北)
五軍 (李熙 荃) (豫北)
四軍 (李熙 荃) (豫北)
三軍 (李熙 荃) (豫北)

鄭廿緩署 劉峙

第一緩署 胡宗南

三集團軍 (王仲廉)

三軍 (王仲廉) (豫北)
二軍 (王仲廉) (豫北)
一軍 (王仲廉) (豫北)

三集團軍 (劉戡)

三集團軍 (董重鈞)

第四緩署 (劉汝明)

九軍 (劉汝明) (豫北)
八軍 (劉汝明) (豫北)
七軍 (劉汝明) (豫北)
六軍 (劉汝明) (豫北)
五軍 (劉汝明) (豫北)
四軍 (劉汝明) (豫北)
三軍 (劉汝明) (豫北)

第五緩署 (孫震)

十軍 (孫震) (豫北)
九軍 (孫震) (豫北)
八軍 (孫震) (豫北)
七軍 (孫震) (豫北)
六軍 (孫震) (豫北)
五軍 (孫震) (豫北)
四軍 (孫震) (豫北)

豫廿緩署 余漢謀

川緩署 邓錫侯

黔緩署 潘文華

三軍 (余漢謀) (豫北)
二軍 (余漢謀) (豫北)
一軍 (余漢謀) (豫北)
四軍 (余漢謀) (豫北)
五軍 (余漢謀) (豫北)
六軍 (余漢謀) (豫北)
七軍 (余漢謀) (豫北)

北朝鮮人民委員會外務局

主任 熊式輝

中國東北蔣介石中區軍事訓練部隊指揮系統表 五雷電九日白訓表

司令官 杜聿明 副司令官 鄭洞國 梁華盛

29A 總司令 孫震 60A 曾澤生 1 暫 21D 陳輝

84D 陳南又

84D 白肇年

93A 盧漢 暫 22D 龍澤匯

暫 20D 顧濤

暫 18D 許義濤

17A 石覺 4D 駱振韻

84D 史松泉

54D 方宅仁

北朝鮮人民委員會外務局

52A 新 20D 趙世章

195D 陳林達

130D 李理

116D 趙欽

88D 趙新

91D 趙琳

14D 張天武

新 20D 李濤

207D 羅又倫

新 30D 唐宇光

新 30D 李鴻

50D 潘裕昆

特務 葉敬 趙振宇

北朝鮮人民委員會外務局

東北敵軍戰序列表

九月八日九日十日敵軍動向

東北行營

東部保安司令長官部

第一緩清區

第一集團軍總司令部

七二軍

八七師 (口軍之口口本緩清區之指導の爲に口口口口)

九三軍

新百二十師
新百三十師
新百三十一師

獨立第一師 (新兵訓練隊改)

交通警察第一總隊 (東部不明)

交通警察第二總隊 (口口)

口口師 (東部不明)

東北保安司令部保安隊

北朝鮮人民委員會外務局

東北保安司令部第五總隊

第二緩清區

十三軍

第四師
第五師

五三軍

一一六師
一一七師

東北保安司令部第三總隊

東北保安司令部第四總隊

東北保安司令部第五總隊

東北保安司令部第六總隊

第三緩清區

五三軍

二五師

六三軍

八四師

東北保安司令部第七總隊

東北保安司令部第八總隊

東北保安司令部
東北保安司令部
東北保安司令部
東北保安司令部

冀東綏靖區

第五師
第四師
第三師
第二師
第一師

東北保安司令部
東北保安司令部
東北保安司令部
東北保安司令部

山海關警備司令部
山海關警備司令部
山海關警備司令部
山海關警備司令部

綏靖備隊

新第一軍
新第三師
新第二師
新第一師

東北挺進隊
東北挺進隊
東北挺進隊
東北挺進隊

特務團
特務團
特務團
特務團

獨立步兵第一團
獨立步兵第二團
獨立步兵第三團
獨立步兵第四團

北朝鮮人民委員會外務局

獨立步兵第一團
獨立步兵第二團
獨立步兵第三團
獨立步兵第四團

獨立步兵第一團
獨立步兵第二團
獨立步兵第三團
獨立步兵第四團

獨立步兵第一團
獨立步兵第二團
獨立步兵第三團
獨立步兵第四團

直轄部隊

人軍兵總隊
人軍兵總隊
人軍兵總隊
人軍兵總隊

第四大隊
第五大隊
第六大隊
第七大隊

獨立步兵第一團
獨立步兵第二團
獨立步兵第三團
獨立步兵第四團

獨立步兵第一團
獨立步兵第二團
獨立步兵第三團
獨立步兵第四團

獨立步兵第一團
獨立步兵第二團
獨立步兵第三團
獨立步兵第四團

獨立步兵第一團
獨立步兵第二團
獨立步兵第三團
獨立步兵第四團

獨立步兵第一團
獨立步兵第二團
獨立步兵第三團
獨立步兵第四團

9

3

東保警編組五共共三〇四
東保警編組五共共三〇四
東保警編組五共共三〇四
東保警編組五共共三〇四
東保警編組五共共三〇四
東保警編組五共共三〇四
東保警編組五共共三〇四
東保警編組五共共三〇四
東保警編組五共共三〇四
東保警編組五共共三〇四

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

13

北朝鮮人民委員會外務局

田口久	田口久	田口久
三二	一四	三二
田口久	田口久	田口久
陳陳	俞龍	周周
吳	孫榮	組組
玲祥	英儀	德德
師口	二	師一
之九	五	八
田口	田口	田口
陳陳	俞龍	周周
吳	孫榮	組組
玲祥	英儀	德德

14

番	總	主官	架庫數	消耗數	現存數
新 一軍	軍部	孫平人			
	新八師	李鴻			
	五十一師	潘德昌	20,000	5,000	23,000
	新三師	廖輝相			
新 二軍	軍部	李鴻			
	新四師	李鴻			
	一〇七師	李鴻	32,000	7,000	25,000
	二〇七師	李鴻			
七 二軍	軍部	李鴻			
	八七師	李鴻			
	八八師	李鴻			
	九一師	李鴻	30,000	6,500	23,500
五 三軍	軍部	李鴻			
	二二師	李鴻			
	二五師	李鴻			
	一九五師	李鴻			
六 十軍	軍部	李鴻			
	八二師	李鴻			
	一八四師	李鴻	30,000	8,000	22,000
	暫二一師	李鴻			
九 三軍	軍部	李鴻			
	暫二一師	李鴻			
	暫一八師	李鴻			
	暫一〇師	李鴻	22,000	5,000	23,000
十 三軍	軍部	李鴻			
	四四師	李鴻			
	五〇四師	李鴻			
	八八師	李鴻			
五 三軍	軍部	李鴻			
	一八師	李鴻			
	一三〇師	李鴻			
	六七師	李鴻			

北朝鮮人民委員會外務局

中國之役 中央軍政院之調查表 九四二九四九

交通部

軍統部

第一總隊 (廣州或待時)

第二大隊

第三大隊 (廣州或待時)

第四大隊 (廣州或待時)

第五大隊 (廣州或待時)

第六大隊 (廣州或待時)

第七大隊 (廣州或待時)

第八大隊 (廣州或待時)

第九大隊 (廣州或待時)

第十大隊 (廣州或待時)

第十一大隊 (廣州或待時)

第十二大隊 (廣州或待時)

第十三大隊 (廣州或待時)

第十四大隊 (廣州或待時)

第十五大隊 (廣州或待時)

第十六大隊 (廣州或待時)

第十七大隊 (廣州或待時)

第十八大隊 (廣州或待時)

第十九大隊 (廣州或待時)

第二十大隊 (廣州或待時)

第二十一大隊 (廣州或待時)

第二十二大隊 (廣州或待時)

第二十三大隊 (廣州或待時)

第二十四大隊 (廣州或待時)

第二十五大隊 (廣州或待時)

第二十六大隊 (廣州或待時)

第二十七大隊 (廣州或待時)

第二十八大隊 (廣州或待時)

第二十九大隊 (廣州或待時)

第三十大隊 (廣州或待時)

第三十一大隊 (廣州或待時)

第三十二大隊 (廣州或待時)

第三十三大隊 (廣州或待時)

第三十四大隊 (廣州或待時)

第三十五大隊 (廣州或待時)

第三十六大隊 (廣州或待時)

第三十七大隊 (廣州或待時)

第三十八大隊 (廣州或待時)

第三十九大隊 (廣州或待時)

第四十大隊 (廣州或待時)

第四十一大隊 (廣州或待時)

第四十二大隊 (廣州或待時)

第四十三大隊 (廣州或待時)

第四十四大隊 (廣州或待時)

第四十五大隊 (廣州或待時)

第四十六大隊 (廣州或待時)

第四十七大隊 (廣州或待時)

第四十八大隊 (廣州或待時)

第四十九大隊 (廣州或待時)

第五十大隊 (廣州或待時)

第五十一大隊 (廣州或待時)

第五十二大隊 (廣州或待時)

第五十三大隊 (廣州或待時)

北朝鮮人民委員會外務局

第三總隊 (同左)

第四總隊 (同左)

第五總隊 (重慶或待時)

第六總隊 (重慶或待時)

第七總隊 (重慶或待時)

第八總隊 (重慶或待時)

第九總隊 (重慶或待時)

第十總隊 (重慶或待時)

第十一總隊 (重慶或待時)

第十二總隊 (重慶或待時)

第十三總隊 (重慶或待時)

第十四總隊 (重慶或待時)

第十五總隊 (重慶或待時)

第十六總隊 (重慶或待時)

第十七總隊 (重慶或待時)

第十八總隊 (重慶或待時)

第十九總隊 (重慶或待時)

第二十總隊 (重慶或待時)

第二十一總隊 (重慶或待時)

第二十二總隊 (重慶或待時)

第二十三總隊 (重慶或待時)

第二十四總隊 (重慶或待時)

第二十五總隊 (重慶或待時)

第二十六總隊 (重慶或待時)

第二十七總隊 (重慶或待時)

第二十八總隊 (重慶或待時)

第二十九總隊 (重慶或待時)

第三十總隊 (重慶或待時)

第三十一總隊 (重慶或待時)

第三十二總隊 (重慶或待時)

第三十三總隊 (重慶或待時)

第三十四總隊 (重慶或待時)

第三十五總隊 (重慶或待時)

第三十六總隊 (重慶或待時)

第三十七總隊 (重慶或待時)

第三十八總隊 (重慶或待時)

第三十九總隊 (重慶或待時)

第四十總隊 (重慶或待時)

6, 2 8

北朝鮮人民委員會外務局

二 九四七 二月八日午後三時頃 梨山保界有駐所（海原縣管內）以向來以對岸山脈

三一九四等八日午後、廣義州管内西朔河、好岸馬市台の駐屯札を

我境北の
約言に因りては結果
敵に夜襲を命ぜり、我側被害無き

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

各部別不法行為統計表 1947.5.7日

部 名	不法越境	不法渡航	不法越境及渡航	所持偽券	備 考
江島郡	2	2	1	1	我旅館、地民1名早給 生色各1名 物品奪去
磐山郡	1	(知事1名不法逮捕等)			
沼原郡	1	4			知事1名早給1名
柳井郡				1	
義州郡		1人	2		我旅館1名早給5名早給 我人民1名物品奪去
龍川郡	1	1	5		我旅館早給2名 物品奪去2回
計	9	11人	7	2	

20

北朝鮮人民委員會外務局

21

秘

一九四九年十月十一日

中國政府改組外黨派別

北朝鮮人民委員會外務局

東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

蘇政教改述

行政院長 張

群（政達至京）

副院长 邵力子(CC)

北朝鮮人民委員會外務局

內務部長

張佳壽(民社黨)

外委縣長 王世杰

國防部長

白崇禧(桂系)

財政部長 王 昂

文教部

朱鎮漢

通信部長 旭達夫

賢務部

千 石 北

司法部長 謝任生

交納部

俞大猷

經清長李

食糧部

天如子

河川新長出通達龍事

土地部

陳儼

(政)

明辰禱祭長子

資源調查

實公長子

卷之四

海內題名

長為然

易經卷之八

卷之二十一

卷之五

楊子(子華)不學且(無以)貴

公
音
發

子

秘書長

乃光

以言改組後 蔣政府內 尚激進 呈覽

一政維新系

의
가
장
難
을
내
자
는
金
圖
이
다
今
次
已
往
不
同
也
是
改
學

蒋介石裁統如下行政機關之職掌及地位如下孔、宋

是代身訓 財政權在 掌握此以 改組前以 宋子文兄 的 辭

職此職此。
改學系 張嘉徵（公權） 吳子如
朱系兄 貝祖詒

代牙水作 中央銀行總裁 佐水作 田大衆様へ 直接經理人旦旦

政治學系
晚清、北洋軍閥時代的
趙秉、金城、中南

大陸外北方四行以領導人自吸吸。南京政府亦成立此後。明著

南方銀行 附庸 取引 取引 取引 交通銀行 取引 取引 取引

北朝鮮人民委員會外務局

系七
 C C 兩陣
 此此
 優勢
 三三
 保有不
 敗敗
 行長
 戰新
 之

元 及 政學章毫 孫近光 人物の吸以 地不銀行の吸以 政學

象之強有如此
傷國可恨哉

今次 國府委員中 陳輝德 (光南) 兄 亦是 孔叢山 政學系外

田大衆族經理人のルビ

蔣介石
張金鷹
中央銀行總裁
孔祥熙
陳光甫
國府委員

此乃孔、宋平買辦之代身

此、宋、明、夏、并、國、來、國、人、而、好、死、
以、是、言、用、是、以、身、死、之、以、求、

[illegible]

山月
 貴氣
 平川
 及
 及

[illegible]

卷之五
立上廟
宣王即景季

入糸子襪
三十五
莫冠莫
然
衣正信
晉

日北 改組後 蔣政務人 人物中 政務系之 主要能 咸分已立

愛知豊川
乙訓川
改修中川
軍艦
貴國の控制は是
減弱の恐れあり

三司軍機之
以燕山
舟內賊匪
醉心水乞
復與東山
對峙已
陳議

集困。接近孔之。限厲生。俞大猷。朱家驊。谷正綱。之。以。前。

東萊部長地任之 北川已見之 地方政府主 席中 復興系之

復過系北 是此例是 占北之暇以 同時所 賞權兄 C C 系

以爲能到。覺機。特務組織。是友配加。新介。CC。

國民黨改為委員會秘書長已於二月九日

政令奉行 財權の集中

政吾秉之政吾秉之
独攬以自愛之
孔宋秉以人物
負祖誼等

表面の孔、深さ
田中の孔、深さ

北朝鮮人民委員會外務局

蔣介石先生 敬啟者先生之 重要紀念日 9.1 近代中國史上 之 改革者

元 北平之典型的官僚政客集團の代表。民國十七年國會命列教

時川 政務委員 李振源の兄 一四四 討蒙の 参加地 任令 利用孔劉

正和〇三組
成免其〇以
著時〇
滿清遺老
以名春燈
之

公統北山陳中山是排外恐已西南軍政府已主持北山北山

軍國政治
以後の
南北議和
以後

政令是
一、兩江
北等軍
餉是
各處
人知
其
介
以

收各系气 銜世昌、曹錕、改附明、參肌孔恩已、改附、不而疎也

[illegible][illegible][illegible]

七國軍川
夜歸
山
七
五華園
七
八
九
黃竹水南島

日後早到 政學系補完 及南京蔣政府中不可缺之成員有
以見之 孫中山主張是 此皆反對之 楊永泰之 以見之 蔣介石之
此皆 親信之 助手之見之 楊永泰之 C C 打殺此後 張
群之 乙係與之 政學系之 領導人物之 以見之 政學系之 對內對
國 對內親民之 政策之 C C 復與親屬等三系之 以見之 此皆

例、著在親白分子、黃部之北平の政務委員會を主持
 能の親白美國の親白、青年は屠殺の、楊永泰の内戦時
 朝の保甲制度を實行の人民は茶毒の、張祥の文部
 長は、北平の親白美國の、沈鴻烈は山東の主席
 として、敵の通の及、人民は屠殺の、陳儀は
 前、台湾の屠殺の、貪汚の、の、2

証明の
政学系の特長は、應付手段として、反動勢力を拘束し、これを水師
和を、群衆を欺騙し、その上、又蒋介石の元を重んじ、
縁故のみ、その上、今日の蒋介石の統一統率集団の中心、蔣敗残部
無能者の元、北支の接近、北支の統一、蔣大元人民を、空前の覺悟を、北
政学系の代表人物は、楊永泰（已死）、黄郛（已死）、陳北の張群、

RECORDED IN THE NATIONAL ARCHIVES

吳鼎昌 張公權 吳敬恆 熊希齡 沈鴻烈 陳儀等

二 民社黨

民社黨の成立は、國家社會黨の革命精神の必要を政治界の各組が
これに力を入れた。その手続の前身は、北清時代の保皇黨の、保皇黨
は清末戊戌政変時の康有為、梁啟超の領導に力を入れた。その
際中山の革命同盟会の、これに敵対した。康有為は、辛亥革命
後、康有為は、北清時代の保皇黨を主張した。北清時代の革命は、
吳敬恆の、康有為の党羽は、海外の、康有為の革命は、反對した。
蒋介石の、南京の、反對政府を、建ち上げた。その、海外の、民
主黨政變を、組織した。これは、大現任政府の、國府委員の、
伍廷芳の、行政院政務委員、李、大、の、領導に、力を入れた。康有
為は、梁啟超の、保皇黨を、北清時代の、保皇黨を、主張した。民社黨

北朝鮮人民委員會外務局

その他、北清時代の、研究系を、成立した。袁世凱を、補助した。
孫中山の、反對は、革命を、鎮圧した。國會を、解散した。
これに、袁世凱の、帝制を、実行した。梁啟超の、北清時代の、
擁護に、袁世凱を、討つた。この、段祺瑞を、擁護した。孫中山の、
反對は、第一次世界大戦の、革命を、主張した。以後の、
北清時代の、混乱の、不斷の、革命を、主張した。これは、大、研究系、の、友
勤、黨の、精神に、影響を、与えた。民社黨の、今日、の、領袖は、張君勱
原名は、張嘉森、の、張嘉璈の、兄、の、大、國會の、當時の、
北清時代の、研究系、の、梁啟超を、追隨した。現在、梁啟超の、傳統を、
繼承した。保皇黨、保皇黨、保皇黨、の、後の、保皇黨、を、北清時代の、張君
勱の、國會の、湯信仁（大湯薊銘）と、研究系、湯信龍の、北清時代の、表
世凱時代の、湖南、督軍、の、北清時代の、湯信仁、北清時代の、漢奸

北朝鮮人民委員會外務局

第一次世界大戦後、半殖民地の中國青年知識分子は、民族の存亡を憂へ、その情勢の改革を求め、一種は人民の覺醒の擴大を、認識の上、革命運動の從事に、民族の解放を求め、もう一種は封建買辦社會の反動傳統の掟取思想を、最徹底の封建階級の上の夢想の「権威」の統治を維持せしめたるの、結果として、反動買辦國の途程に至る。又一種は中國共產黨の進歩分子の、大多數人の、その方向の吸ひ、又一種は中國青年黨の極少數人の、その吸ひ、その結果、中國青年黨の領導者、如何の、その結果、その結果、過去、愛國運動の参加者は、その結果、その結果、中國の知識分子、その結果、相対的に吸ひ、青年黨の領導者の結果、其抗強權、内抗國賊、外抗強權、その結果、強權を中國を侵略せし、當時主義の、中華を通じては蘇聯の、その結果、内閣は、當時の中國を、反響した、愛國國民は、北洋軍閥の、その結果、中國共産黨を領導した、孫中山の、共産黨の、その結果、及革命の陳炯明、張作霖、孫中山の國民黨を、及その結果、孫中山の、革命の國民黨、第一次代表大會宣言の、指示した、國家主義派は、又、その結果、その結果、佛蘭西の、中國主義、軍國主義思想の、自身及び新成績を、稱讚した、その結果、當時佛蘭西の、會議、李璣、何魯之、佛蘭西の、中央組織形成の、組織明の階級的対立は、その結果、佛蘭西、左翼共、陳啓天、人、宋家榮、葉小龍、公見、公倫の、陳炯明、趙恒惕、等、反革命の、張作霖、方面の、孫中山の、大政策を、及その結果、その結果、その結果、反動集團の、吸ひ

30

青年黨の目的は黨員友誼、愛國督外也。卑劣奸偽を
思想根源の処を以て之を去る。近百年來の歴史人物中曾國藩、
李鴻章、梁啟超を以て崇拝し其の如き革命家を鄙視せり。
此れ左衛門と特に李鴻章の賣國外交を痛憤し其の暴政軍
中の汚穢腐敗の和平主張を贊成せり。現在之中華時報を
主持せる人公論的なる親美帝國主義を主張せり。
昔年竟中央委員の現任介石政府行政院秘書長に當
面して該党が新報上の文章を發表し中國女人は
力一平の女郎の如く外國の血統を脱し中華に主權あり

北朝鮮人民委員會外務局

32

元豐七年六月十八日

中國及外國商民締結

條約文

北朝鮮人民委員會

外務省東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

中國外外國商의 締結한 條約集

一八四三見七條 清政府과 英國商의 南京의 丁三仙條約은

締結한 後의 이 條約은 大 南京條約의 改正의 主要한 內容은 一

一 清政府는 賠償金 二 千萬兩을 英政府에 納付한 後

二 香港을 永遠히 英國의 割讓한 後

三 廣州 厦門 福州 寧波 上海의 通商口를 開放하고 英國人

民의 家族을 다리고 居住하고 領事館을 設置한 後

許한 後

四 英國物品의 入國에 關한 規定의 依하의 納稅(稅則)은 法의 二로

規定한 後 中國商人은 早히 各地에 運搬하기 爲하의

稅關을 通過한 後 二重課稅를 施수 受음

一八四四年의 美佛兩國는 英國과 中國의 南京條約締結을 機會

北朝鮮人民委員會外務局

은 하의 利益均享을 要求한 後 清政府는 在 美國과 佛蘭西

에 對하의 中美條約 中佛條約을 締結한 後 이 二

條約을 締結한 後 美國과 佛蘭西는 中國의 領土의 領事裁

判權을 確立한 後 이 二

一九五八年三月 英佛聯合軍之 北方大港の 侵入の 砲台を 攻め
し 破るに 清政府は 諸和を求む 天津條約を 締結せしむ
天津條約署名後、 다음에 北京에 이 條約을 交換하고 此
의 批准하기로 規定せしむ。 그이 一八九九年 英佛公使가
北京으로 오고 正議하러 清政府와 公使를 入港을 軍艦으로
護衛하는 拒絶せしむ。 英佛聯合軍은 此의 天津、北京을
陷落시키 清政府는 英佛의 諸和을 要求하러 北京條約을
締結せしむ。 (一八六〇年)

當時의 露西亞는 中國과 英佛間의 戰爭의 結果를 臨時에
此面調整せしむ。 이 調停의 功이 收められ 口実로 清政府의
強要하러 中國露天津條約、中國露北京條約을 締結せしむ。 此外
의 清政府가 英佛聯合軍에게서 北方을 守る는 餘暇せしむ。

北朝鮮人民委員會外務局

此의 露露江以北의 中國領土는 以領地後 均清政府의 強迫하러
受領條約을 成せしむ。 그이 利益의 對하러 承認せしむ。

天津條約의 主要內容은 一、

一、 南京條約의 繼續的으로 有期せしむ、

二、 中露、登州、台灣、潮州、瓊州を 商埠とせしむ、

三、 英國人民의 訴訟事件은 人命、財産を 討論하러、 이를

領事館에서 處理하러

四、 英國人民의 中國内地を 游歴せしむ、 長江流域의

各港에 英國商船은 自由로 通商せしむ、

五、 英國의 耶穌教徒、天主教徒는 自由로 傳教せしむ、

六、 四百萬兩を 賠償せしむ。

七、 關稅協定은 承認せしむ (百兩之五) 中國政府는 各國의 承認

是日訂止 國稅を增加せしむ。當時佛蘭西の締結せし條約は
大略 中莫天津條約の如き。條約の中に 佛蘭西は 北支那
の承認せし。佛蘭西の軍費は 二百万は 賠償せし。

北京條約の内容は：

一、天津條約は 繼續的を 有知せし。

二、天津を 商埠を 開放せし。

三、九龍の半島を 英國の領土を 割讓せし。

四、英佛軍費の 損失費を 八百万の賠償せし。

中國天津條約の 主要部分は 露國の 中國の自由通商

の 領事館の 設置を 許せし。

中露北京條約の 北支中心の内容は 烏蘇里江以東の

土地を 露國の 割讓せし。

北朝鮮人民委員會外務局

愛珍條約の(一八八四年締結)の 主要内容は：

一、黑龍江以北を 露國領土とせし。

二、黑龍江、烏蘇里江、松花江の 中露兩國船舶の航行を

國人の 貿易を 許せし。

中國の日本との戦敗後、一九四五四年、李鴻章は日本
の敗戦後、下関條約を締結し、その主要な内容に、以て
たす。

一、中國は朝鮮を独立國家と承認し、朝鮮を廢除した。

二、遼東半島(鴨綠江の)、鳳凰城、海城、營口及び(台灣全島
以琉球群島を、日本に割譲した。

三、中國は日本との軍費賠償金は賠償した。

四、沈陽、重慶、蘇州、杭州を通商港とし、日本に割譲す。

五、領事を設置する所を、

六、本條約の、莫行を、保障し、其の日本に、其の合意軍隊
を、威海衛を占領した。

北朝鮮人民委員會外務局

一九〇二 清政府新強의 諸和條約으로 辛丑條約을 締結한데다 二 主要內容은 如하와 같다

一 賠償 五千萬兩의 賠償을 一九〇二年부터 一九四〇년까지 毎年平均 二千萬兩을 支付한다 本國의 利子를 合하고 總額 一億兩의다

二 中國政府는 各國使館의 境界를 區劃하고 使館境域內之人全部公使가 管理하고 中國人은 居住하지 못한다 各國之公使館을 保護하기爲하의 使館境域內의 護衛兵을 設置한다云云

三 中國政府는 如하으로 大流砲台을 北京의 海濱面의 一으로 交通上 支障이 없게 하는 砲台을 設치한다云云

四 各國之 北京, 天津의 諸城壕面의 軍隊를 駐屯하지 못한다云云

北朝鮮人民委員會外務局

五 永久의 非外國統의 加入을 禁하되 違反者는 死刑의 處死云云

六 各省督撫文武官은 有司各官之 萬若外國人을 傷害하든 如하든 彈正을 하지 않으면 永久의 撤職하고 復職하지 못한다云云

一九二五年 日本と 中國政府の 中國の 滅亡の 二
條を提出するの 一は 二條の 主要なる 内容は 五部分
に分けられ 以下に記す

第一号 第一號 中國政府は 日後 日本政府に 独逸政府

との協定を 承諾する 独逸の 山東省の 國境 條約

或は 其他國境の 條約 中國政府の 承認を 受ける

一切權利 利益の 讓渡事項 自當令を 其承認する

第二號 中國政府は 且 山東省内外 及び 沿海一帶の

土地の 右島嶼の 等の 項目を 均論して 他國の 讓渡

或は 租借の 計畫を 許さざる

第三号 第三號 日本人民は 南滿洲 以 東部の 蒙疆の 及び

の 工業業を 改造するに 必要なる 建物或は 耕作の 地

北朝鮮人民委員會外務局

の 工業重要土地の 租借權或は 所有權を 認可する

第六號 中國政府は 中國南滿洲 以 東部蒙疆の 及び

の 政治 財政 軍事を 顧問の 聘用を 許すに 此の 地

の 日本政府に 商議する 許す 第七號 中國政府

は 官吏缺道 管理委員の 日本政府の 委任に 二年

限を 本條約の 捺印の日より 九十九年まで 設

第三号 第一號 兩國締結を 互相協定の中 置く 通商の 機會の 改

の 漢治萍公司を 兩國合作の 事業とし 同時に 日本

政府の 同意を 受けて 該公司の 所有の 權利を 一切權利 產業

を 独断獨行を 許さざる 此の 該公司を 右の 独断獨

行を 許さざる

第四号 中國政府は 中國の 所有する 沿岸 港灣 島嶼の 及び

。 是 他 國 の 讓 渡 以 租 借 せ し 地 點 を 以 て 承認 せ る
第五号 第一款 中國 中央政府 内 の 地 點 有 力 能 日 本 人 以 由 せ
軍 事 政 治 財 政 等 の 顧 慮 有 る 以 聘 用 せ る 第三款 従 來 中
日 兩 國 の 警 察 事 件 の 屢 次 起 る 以 時 摩 擦 の 讓 渡 以
不 大 能 せ せ せ せ 地 方 の 警 察 事 件 中 日 合 作 せ せ 事務 等
取 扱 せ る 或 是 以 此 地 方 の 警 察 官 署 以 せ 日 本 人 是
多數 以 聘 用 せ る 中國 警 察 機 關 以 改 造 以 貢 獻 せ る 以
第四款 日 本 以 一 定 數 量 (中國 以 需 要 せ せ 軍 用 品 以
半 數 以 上) 日 軍 以 軍 用 品 是 採 取 せ る 或 是 中國 以 中 日 合
作 以 軍 需 土 場 是 設 置 せ る 日 本 技 師 是 聘 用 せ る 日 本
材 料 是 採 取 せ る

北朝鮮人民委員會外務局

600

一九三五五月十九日 天津駐在日軍之 參謀長福井基之
派遣の 中國當局の 東北義勇軍孫永勤部を 援助するに口実を
北平軍司令部代理委員長 何應欽の 以ての無理を 要求を提出
せられた 國外大軍を 調集するに 萬難を 要求を 提出する
の如きこと 自由行動を 採擇する 報復行為の如き 言明せられた。
天津駐在 日本軍司令梅澤を 以て強に 態度を 以て 二
結果に 六月九日 何應欽に 梅澤前を 秘密協定の締結の
の如き 何梅協定の如き 存在
の協定を 其の 秘密を 國民党政府に 敵に 正式公布を
せしめられた 二語を 用いる 否認せられた 二語に 各方面の
材料の如き 二後事實の 証明の如き 中國方面の 以て
履行行為の 以て 協定を 各項の如き

北朝鮮人民委員會外務局

- 一、前北省及北平、天津両市の 國民覺醒部を 取消せられた。
- 二、前北省の 駐在せられた 東北軍政委員の 撤退せられた。
- 三、前北省主席 于學忠、以て 北平、天津両市場を 撤退せられた。
- 四、北平軍令会政治部を 撤廃せられた。
- 五、河北省の 反日運動を 取消せられた。

完

一九四六年十月四日 米將商約を締結せられた。二條約の主要内容は
一、米國人民は中國領土内を 中國人民同様の特權を享有する
特に 米國人民の身体財産の安全の好む中國を 自由に
渡る権利を認め 保護せられた。米國人民の住宅、倉庫、工場
商店及び其他業務場所（一切の商業施設を含む）を 中國人民
參觀せられた。

二、米國は中國の 探礦の權を 最惠國の權利を 享受する
中國の所有の 礦山を 既に 米國の 所有せられた。
三、中國の關税内外の稅を 既に 米國は 最惠國の特權を 享受する。
四、中國の領海、内河の 米國艦隊は 米國證明を 一切船舶を
貨物載運の乗客（武器載運の軍人は含み）を 通過する
自由航行する。既に 港口の沿岸の 既に 陸地を 通過する。

北朝鮮人民委員會外務局

五、中國の 内地の 上を 既に 米國飛行機（民用、軍用を含む）
を 自由に 飛行せられた。上海、瀋陽、天津等飛行場は
着陸せられた。

六、其他 米國人民は 國の 自由に 兵役に 参加する權利を
既に 米國人民の 飛行者 米國方面に 交付する。單獨として
審判せられた。米國は 中國の 駐軍の權利を 享受する。

將米航協定問題は 一九四六年八月三十日の 米國他方より 二條
合約の 將政府間に 合意調印された。同九月二日の 將政府と
北朝鮮上海一及び 航協定を 締結せられた。これは 既に
將米航協定は 正しく 締結せられた。

17.825- 3.557 2.543 17.358
18.128 2.734 2.177

北朝鮮人民委員會外務局

南朝鮮人民抗爭支援金品地圖集計表										牡丹江地區支委會 (一九五七、四、三)	
地區別	地區別	戶數	人員	現金	米	別是文	手巾	麻袋	雜品	備考	
牡丹江	七街	二五三七	五〇、五五〇	八、五八八	八、五八八	五〇件	四〇一	八、五八八	件		白米 九二五 小米 八五九三
(市外)	八街	一五七七	七、五七八	二、三三六	八、五八八	二、三三六	二八三	六			白米 九二五 小米 八五九三
(市外)	二街		三、四二〇	四、四二〇	一、九二五	二、五三三	五五				白米 九二五 小米 八五九三
小計	五街	四、〇四	二、五八八	二、五八八	六、五八八	一、〇八八	六八九	九四			白米 九二五 小米 八五九三
新海縣	四街	二、八二八	二、七八五	二、七八五	二、七八五	三、三五	七四四				白米 四三三 小米 二四七四
北務縣	九		三、五五七	二、五八八	二、五八八	一、三三八	三九二				白米 四三三 小米 二四七四
南務縣	八		三、五五七	二、五八八	二、五八八	一、三三八	三九二				白米 四三三 小米 二四七四
寧安縣	三	三、五九七	三、五六六	一、九四〇	九、三四七	三、三四七	三、三四七	三三			白米 四三三 小米 二四七四
合計		二五二九	二、五八八	二、五八八	六、五八八	一、〇八八	六八九	九四			白米 四三三 小米 二四七四

43

南朝鮮人民抗爭支援金品集計表									
住所		姓	氏名	支	援	金	品	集	計
新海縣		新安區	一六四七	五八八	五九八	五九八	五九八	五九八	五九八
		名海區	四八八	二五八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八
		山市區	二二三	一五九	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五
		海林區	二二八	一五五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五
小計		四	二二八	一五五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五
北穆後縣		八通通區	二二〇	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八
		梨樹鎮區	四五二	三六三	三六三	三六三	三六三	三六三	三六三
		曹興村區	五七〇	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
		平盛村區	五五七	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五
		福祿村區	二四〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇
住所		姓	氏名	支	援	金	品	集	計
北穆後縣		福祿村區	一九五	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇
		更新村區	二二八	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
		成德村區	九五	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇
		三達威子區	九〇	九二五	九二五	九二五	九二五	九二五	九二五
小計		三	二二八	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
南穆後縣		秋名石區	四九八	七五九	七五九	七五九	七五九	七五九	七五九
		興源鎮區	四九二	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇
		泉眼河區	四九五	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇
		穆後區	四〇一	一七五	一七五	一七五	一七五	一七五	一七五
		下城子區	五五九	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇
		大城廠區	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
北朝鮮人民委員會外務局		姓	氏名	支	援	金	品	集	計
		新安區	一六四七	五八八	五九八	五九八	五九八	五九八	五九八
		名海區	四八八	二五八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八
		山市區	二二三	一五九	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五
		海林區	二二八	一五五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五
小計		四	二二八	一五五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五
北穆後縣		八通通區	二二〇	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八
		梨樹鎮區	四五二	三六三	三六三	三六三	三六三	三六三	三六三
		曹興村區	五七〇	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
		平盛村區	五五七	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五
		福祿村區	二四〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇
住所		姓	氏名	支	援	金	品	集	計
北穆後縣		福祿村區	一九五	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇
		更新村區	二二八	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
		成德村區	九五	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇
		三達威子區	九〇	九二五	九二五	九二五	九二五	九二五	九二五
小計		三	二二八	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
南穆後縣		秋名石區	四九八	七五九	七五九	七五九	七五九	七五九	七五九
		興源鎮區	四九二	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇
		泉眼河區	四九五	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇
		穆後區	四〇一	一七五	一七五	一七五	一七五	一七五	一七五
		下城子區	五五九	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇
		大城廠區	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

北朝鮮人民委員會外務局					
住所	姓名	年齢	現金	米	別是文 手巾 麻袋 其他
太平村區			六〇〇〇		其他
牛心山區			一三八	四四五〇	
寧安縣	第一區	二〇七	五〇〇	四、五七〇、八三五	九〇
	第二區	一〇八〇	五〇〇〇	一〇、一五一三六	四七
	第三區	一四二	七三八	三四、四〇〇	五七
小計		三五九九	七、五八八	四、四四〇	九、五四七
牡丹江市	西安区	三九六	一四三〇	七、五五〇	一六三一
	共榮街	六七一	二、五二八	三、三三〇	三、三三五
	西安街	二五二	一、五九〇	〇、〇〇〇	一二〇
	共慶街	一八四	七、五三七	〇、〇〇〇	三五五
	立新街	七〇一	三、五八二	八、四三三	九、三九〇
	愛民街				一、六〇
住所	姓名	年齢	現金	米	別是文 手巾 麻袋 其他
愛民街		八九	三、五八一	六、九五五	高、一五八
陽明區		二三五	二、七五	一、八四二	二、三三二
鐵峯河區		三三	一、八二	五、二五〇	白、九三二
四道峯子		五四二	二、二三八	四、七二八	三〇
謝家區		七一	二、九四		二〇〇
下口河村		二二四	一、二五	六、九九〇	一、六八五
海浪村		四二	一、八九		一九二
東村		二〇八	八、三四	八、四九〇	二、三三三
橋頭村		一〇五	五、〇七	四、五五五	二、三四
西村		八四	五、二五		三、三三八
小計		四〇四	一、八三八	七、五八八	一、五六二

30/6

秘

一九四七年六月三十七日

米國對中政策

英米關係

北朝鮮人民委員會秘書

東亞部產英

北朝鮮人民委員會外務局

九月五日 至九月二十日 亦为 在上海时的 进行现止、
米、莫和相会 谈的 中国问题的 谈的 以明和 是 内各之 是 协
分见以

「三國札相」は、中國の關係に於ける問題の對此意見を交換せしむ。中國は民族政府の指導下の統一の政治を爲す。民主主義化を必要とする。國民協會は中止の對此を協定を到達せしむ。中國内政不干渉政策の是實化は之を確證せしむ。この上、米兩國の相見可及の点を迅速に中國に早急に米軍を撤去する對此完全の協議を到着せしむ。

日盟的
各區政務
如何
實行
之
下
9-1

北朝鮮人民委員會外務局

上聯政府之五項公約五項宣言
為新中國之上聯政府是
完全承認之、上聯政府之
民主主義與會議之決定之政
國民政府所訂此之民主主義與
會議之決定之政
其重要之點中國統一國民
主主義與會議之決定之政
中國人自應以此為準
計此中國內政則適者而生
千變萬化之政及此以外
乃在生千變
外口語之其的明白此人之心

米國之
力也一
年卒告成
國民院軍隊四十餘團是武裝
八旅二十四萬餘名以上之極大軍隊是武裝八旅已中國之航空
海軍艦隊以軍事於四十二(七)所是設置孔兒已所召米國內
國民院各種軍隊之北政商確主備事業之進行孔兒已

聖地亞哥 米國之自己外 航空隊孔海運之計 華北以爲所立
國民革命軍隊之任務是 人民解放軍是 及孔兄 欣幸以 永沐

美國の中國の早計 撤兵を問題とし 一九四七年九月の
 州改撤兵を免るに力をつくす 米軍の八百八十人の撤兵は
 州改の已む 中國領土の二地を教の軍隊を 保存を求め対抗す

在 美國、中國將政府以締結新約是此也 日 中 米

各種軍事訓練所及補助所
總統及陸軍部一九四五年十月四日

調子
の補充
四十餘
萬字

一、米國人之中國領土內之中國人與華僑待遇平等

功干涉立止其前
 策護訓昨見此
 米國之民乃修完
 倉庫王場

하리 못함

中國軍人以非行之 中國東南之戰爭 北京大各寺等 強
 軍事事件 最近有之目的 香港四行 中國人 人力南夫之 刺殺之
 四行一目的 北平之目的 同一北刺殺之事件 是 以之北刺殺之
 以之 中英法俄四行之 英國是東京 一九三三之 日本之侵攻
 以前之 強國主義 甲 指導的地位 是 北之北之北之北 一九三三
 統制之地位 外國之中國之地位 投資額之 三、七% 是 北之北之北
 美國之中國之地位 之 勢力之 印後之接境之 西藏之 香港之
 中心之 華南地域、上海之中心之 華中楊子江流域 天津之 中

心主記 華北也城川工業、商業、礦產、缺逆、海運、銀行、保險

著事業川 巨大の利権の支配の實力を以てしてゐる。日本が歐
 州以前に 工大部分の 損失を以て 以後東國勢力が 日本に
 及ぶ所の 地位の氣勢を 維持する所より 原來勢力を回復する所
 である。英國を 以前より 中國のより 工に 指導の地位を以てして
 現在に至る。自己陣地の 弱体化を遂げ 英國實業界を 工の
 東國人を以て 全般の 同一政策を以て 取らる。協議の 試
 行を 中國の 刊行を 英國新聞 上 今までの 日報 元
 十三年自來所 掲載の論文要旨を 中國の 英國の東國兩國
 通商の 人々を以て 通商の 英米兩國通商の 實現の諸國使を
 以て兩國公民の 實を 以て各地に於て 現下中國の 以て兩國民
 以て協力する 通商の 今に至る 餘地を以てして 現下 英

米國保之從前此意也 權力之所在 可及的友誼的競爭の形に之を
尊重此の要なり

2. 米國資本主義を以て英國親南を以て是の利を計るなり
然れども 米國人を以て 中國人等を以て 自己財産を保護する人
たが好まざるなり 中國當局は英國親南の中國内水路航行を禁止す可
し然るに米國資本を以て 中國當局の好む後の今に於て是の利を以て 此の
外港を米國の艦隊に英國を以て此の戦後 對中政策を若手英
更に其の意を以て 米國の好む後 英蘭等國 英國を
2. 對中政策を以て 米國の好む 反對の態度を取らる
なり

南元 英國外交機關の回復の形に 英中の親善を回復する便
命を以て此の意を以て 英國首相の個人的代表者にして此の利を以て

北朝鮮人民委員會外務局

此の利を以て 米國の好む 反對の態度を取らる
なり 2. 理由を以て 命を以て
の使命を遂行する人にして此の利を以て 此の意を以て

新任英大使の形に 此の意を以て 南京新代表者大會の形に
此の 中國の形に 英國代表者大會の形に 協定を以て 此の
此の 實地の形に 此の意を以て 此の意を以て 改進の形に
此の意を以て 此の意を以て 此の意を以て

英國人等を以て 國民黨指導層の 此の意を以て 協定の形に 此の
協定の形に 此の意を以て 英國政府の代表者をして 排水量
24噸の巡洋艦の形に 此の意を以て 海岸防禦の形に 此の意を以て
軍艦を中國の讓渡する形に 此の意を以て 此の意を以て 遠東艦隊の
中國當局の協定の形に 國民黨軍隊の 北支聯軍の形に 此の
此の意を以て 此の意を以て 此の意を以て

航空也 中國當局より香港の港に施設を 利用せしむる計あり
明 航空の事 中國の軍人々を 訓練し其を以て飛航せしむ
五〇五五米の商業界より代表者あり 重工業及輕工業の建設機
關あり 代表者あり 英國通商使館より 中國に到達し 工業
是英國對南之 大勢力を説く
「也三三」 一、中國通商を 自由にして 觀察者(イ使館員)の立場
より、英國は中國對外貿易の 從前地盤を 回復せしむるに 莫大の努
力を盡せしむるに 振舞はる。イ英國使館員の 新市場を 獲得せし
むるに 貿易上、經濟、財政上 諸條件を 研究せしむるに 中國對
南の 航空也。イ國の 团长は 氏を 五〇五五米の 南米の
中國對外貿易の 大部分を 英國の 手の中に 集めしむるに 望み
國に 航空を 振舞はる

北朝鮮人民委員會外務局

中國航空界の地位 米國の 利益を 保護せし 金權を 掌握せし 美
國大特權を 航空の 振舞を 反對するが故に 英國航空使館員より 中國に英
帝國の 航空運輸を 復舊せし 中國航空界の 地位を 補助せ
るが故に 五〇五五米の 中國に 到着せし
五〇五五米 下米 郵便を 早く 中國市場の 米國商品の 並行を
以 英瑞西、瑞典各國商品の 流通を せしむるに 望み 航空の 振舞を
以 英國に 最近の 中國市場獲得を 爲し 航空の 振舞を せしむるに 望み
五〇五五米 英國の 航空の 振舞を 對中貿易上 地位を 復舊せしむるに
望み 航空の 振舞を せしむるに 望み 航空の 振舞を せしむるに 望み
英國を 對中輸出を 新段階に 進めしむるに 望み 中國の 外國輸送上
に 確固の 地位を 占めしむるに 望み 航空の 振舞を せしむるに 望み
五〇五五米 英國の 航空の 振舞を 輸入の 振舞を せしむるに 望み

南支派岸、以鎮香港

中國漢方以英德藥爲最

禮樂之

中興元年

이
리
한
것
이
나
나
나
나
나

讀中國南方四時記 中米彙

彌高條然無以廣之

此大元竟與衡溪合生財也

이름이 무엇인가

是護清可拒取之

[illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

情報又授之統果 此相見也 正旦氏之來寧以直接駐華以
十位師團實武裝者 將軍達翰那高警覺是武裝人等一集米國之內
戰松大外內政干渉の妨害を 餘地は日本の暴露に於て 此等之等は不
便な理由を 駐華米軍は一九四七年一月に 此の記述は既に
二十八年八月に 在外に於て 此の記述は中國政府の要請に依りて
いかに記す

58

朝鮮人民委員會外事局

3052

朝鮮人民委員會外事局

國民黨中央調查統計局之沿革及
其時期之變遷之主要情形

北朝鮮人民委員會外事局

陳重祚 崔英

北朝鮮人民委員會外事局

中統局の各階層階級の状況は如下

北朝鮮人民委員會外務局

現在上海新聞記者公會調查科成立後長江通訊社是設在上海各大新聞記者公會內因接收以前通訊員之關係維托天津上海等地以秘密電台之線在內也

調査材料の時期は、昭和十一年、主要任務は、

一、我党(中央)の秘密組織を破壊せしめ、九月四日午後五時國民黨中央會議
中の提出した英米路の報告中の吃字をその報告を電報の記(民間)十九日の
暴動を鎮止し階段の時、特務隊に電力を以て組織を破壊せしめ、四月三
日の各地で屠殺行爲をして死なせしめ、總所の時期の吃字の中、英米の高射を十九日中絶
幹部十八名、下級及び普通黨員一千五百人を捕らへ、牢獄に入れ、共産党の元氣を
破壊せしめ、この時の國民黨政権の要人に基礎を築き、これを川流にして死せし
め、各地で英米の激攻を受け、勢力を封じ、特に一九二一年は國內軍閥大戦時に以
て、その下に有る重なり

[illegible]

一、上海特科責任人顏順章兄報告偵調查科之報告，利用水特
務工作政策之加強，以此（一）順章兄由英特工科責任者處也；
一、順順章兄利用水特訓練班之訓練，特務工改裝及以此。

設計是與今世成立以專以五穀稼穡爲綱以先任五稼錫根即
馮瑞)王公程、余耶、梁輔政、胡大海(陸敬希)、王克金、羅章祚、黃平

北朝鮮人民委員會外務局

等人の参加を以て、同時に各省の農林事業の調査を以て、
 不況の早い救済を以て、特に組織本身の利用を以て、
 地方市町村の組織工作を徹底せしめ、都市衛生、中央市町村、
 農業、水利、地方市町村調査、各局長等、の任に及等、
 救済を以て、利用を以て、不況を救済せしめ、
 地方市町村の組織工作を徹底せしめ、都市衛生、中央市町村、
 農業、水利、地方市町村調査、各局長等、の任に及等、

二、前一九三三年以前の時期の如き叛徒を利用せしむるに重南が功を著し毎層を
 予知せしめ是の叛徒を是の動機に誘ふを以て例示せしむるは其の要母を因に以
 今部の中に給ふ拂を要するに以て其の共党の如くは其の母を以て其の母を
 是の如くは盧福坦、中央委員の如くは其の父を以て是の如くは其の父を以て
 領導下の秘密の親友を以て組織せしめ其の参加者を徐錫根、潘同友、余能生、王
 程、夫婦等の如く顧に成立す其の國民黨之前途に以て其の勝利を以て其の

（一）叛徒之運用：叛徒之特有組織須有其機構中之吸收此例：王云程之北平市黨部調查室主任之鄭春生之湖南省黨部調查室主任之吳振廷（前湖南C.V. 局長著說）是胡哲敏於調查室主任之任命（一九五〇年）各處調查室之重要城市之直屬區之鄭九以例：上海區之盧福坦之例（其例）謝余能之例（先任之區長之信任之鄭東道之李元澤之例）區長之信任之（二）調查運動之擴大：九區之張冲之死後之例（其例）秘密自首政策之修定：三百余名中之八〇名之例（其例）勝利之例（其例）中央內務部之權限之例（其例）（三）總計：一九五〇年之七區之戰前時期之國特調查科之我秘密黨之對其之例

要嚴重之破壞是也。甲統少十中人全會外報告甲統吃水不足。以時期之不利也。

計劃以爭取之會重於此也。北方面言之。自首政策是推行於此以前較愛國
 流是擴大。此即北方面言之。自區以中共組織是漸次之成果之順順是早，
 向忠發（犧牲）李竹坡、袁炳輝、余彪、盧福坦、盛光亮、邱均鵬、徐錫根
 王云程是逮捕於此以前。紅五軍河北、平津、魯南之組織、陝甘寧、晉豫等。
 省系統之破獲，民三三年川蘇皖等地殘餘組織是消除已。三二年以
 中共特務隊是清除已。上海電台是破獲已。一九三五年運動是制限已。
 全國人民收線是制限已。此時期以中共黨外高幹部九人先與三九
 〇名下級及普通黨員三萬八千人逮捕已。

此等暴發的將介是 被迫 以抗戰為前提 以中統為
特工 不是抗日及英之謂也 意是身已處在不義之中統局

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

日時期的見解、國策を三次及英高野を、廣動の見解、中統高を、又及英
 力一組織加強を、針下の海次及英高野前後、積極的の之を佈置の之を流動を、
 進行の見解、具體的対策上、必以問題を、強調の見解、

（特情）内紙の家数、高級特情の建造量
 2 特情 2 以内 中心 中心 中心 中心 中心

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

九四。以內各地之特殊情形，自應（遵照）各省委（四。五）根據其
是規定其以九四。以內之特殊情形，專以指示其發展之高級特殊之主要
是強調，在各地以內，我黨最高機關之應付之提出，例中央局、省委
區委、計委的意見，突擊工作，所以所有之特殊情形，應以新黨員之積極
的意見，三項意見，軍事特殊，亦應極力重視之，我高級軍事指揮機
關例說，支隊困難，以三項意見之積極之意見，規定其以九四。以內

[illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

만
든
것
이
나
한
것
을
제
출
한
것
이
나

中調局のハシレ内儀突或ハ不致スモ効果ニ收復セズルハ
ハ由延(三申渡)
ハ之ハ德既所^モ之ヲ我党共電^モ官ハ特情可^モ七百四十人ノハ由延
ハ此ハ亦二五名
ノ増加セズルハハ由延時又省奉五、特委二縣奉三六、而奉三人ノハ由延

(三) 火竈是黨內秘密組織是搬運水缸 搬換潮流是洪水

[illegible]

[illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

(三) 敵情以先是以我覺醒敵是破壞

不四三三三三敵兵と之を前の修戦に敵情掃蕩中の此れは國共党軍と
 大量の傷亡を蒙り、國共黨は備軍としての敵軍を配給及び糧食を運搬する掃蕩
 委員食料の特別作業者以上の此れは「借の殺人」の方法を採取する。中絶
 九四三三三三三三各級幹部の指示に従うことは、敵軍の道にのみこの敵情
 組織の破壊を為主とし、内線人質を以て敵情の収束及びその利用に好情
 陰謀を暴露し、此れは已に見え、其の敵情人質及び民衆の嫉恨心理を増
 長し、同時に時局を利用する好情の主義を以て敵情首魁の對此は恐嚇便紙を見せ
 し或は其他の反奸方法を以て敵情及び好情の死便を激発する自動的である
 拡大以餘奸賊を以て其の及、國特の所謂敵情之作内定に
 四)内部を肅清し、黨員調査網を建立す。

中调局是一九五〇年底至早期特务内部肃清及党员调查组织建立

以上四美之中、調子の時期中の九龍の中心工作の見地。これは陳光遠大
後方の所謂「解放区」及解放區の外の七、八割を占める。利用は各工作を
逐重に之に依りて之に人全國範圍の中心に於て以前四項は最も重視され
たゆえ至る所のところ。九龍は我黨整風運動の開始地の内、党内思想の混亂を呈
現し及び當時の政策上から見て、國特異思想の自解を進行せしめ、之に對して党内の
小資產階級思想を清算せしめんとす。特に九龍の各地の人々及時
今年より開始した後、党の嚴密な規定に因りて流動の村々の多くは黨を

91

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

(丙) 日本投降後之特殊動向

北朝鮮人民委員會外務局

後日停收關稅後三

著者は「新の」を組織上の現在の進化を強調するの著者は
 企圖は政治上の号の統一を強調する。交通開放の復興策は
 利用は解放道の大量の特色を強調する。大後方の統一を
 是實行は統一の秘密組織を控制する。企圖は中心化を強
 かにする。企圖は進歩的。大規模の配置は各大城市の
 我々の好む模範は、この増加の破壊は、群衆の秩序に理を和
 用は、米信団体の結合を組織化。農村の侵入は、の統一を特

この大なる改革は、北朝鮮人民の自由と幸福のためである。

一、特殊機関の設置。秘密機関の整備は、国家の安全と主権を守るための必要不可欠なものである。改革を通じて、秘密機関の組織と活動を強化し、国家の安全と主権を守るための必要不可欠なものである。また、特殊機関の設置は、国家の安全と主権を守るための必要不可欠なものである。改革を通じて、特殊機関の組織と活動を強化し、国家の安全と主権を守るための必要不可欠なものである。

二、内閣の改組。内閣は、国家の行政と立法の中心である。改革を通じて、内閣の組織と活動を強化し、国家の行政と立法の中心である。また、内閣の改組は、国家の行政と立法の中心である。改革を通じて、内閣の組織と活動を強化し、国家の行政と立法の中心である。

北朝鮮人民委員会外務局

（一）内閣の改組。内閣は、国家の行政と立法の中心である。改革を通じて、内閣の組織と活動を強化し、国家の行政と立法の中心である。また、内閣の改組は、国家の行政と立法の中心である。改革を通じて、内閣の組織と活動を強化し、国家の行政と立法の中心である。

（二）特殊機関の設置。秘密機関の整備は、国家の安全と主権を守るための必要不可欠なものである。改革を通じて、秘密機関の組織と活動を強化し、国家の安全と主権を守るための必要不可欠なものである。また、特殊機関の設置は、国家の安全と主権を守るための必要不可欠なものである。改革を通じて、特殊機関の組織と活動を強化し、国家の安全と主権を守るための必要不可欠なものである。

[illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

復元の杭州の直隸支部を成立せしむ。同時に總領の意を以て、以後は
是を蒙元と爲し、蒙元討元の組織を任務とし、蒙元討元の國體を此種に
活動せしむ。現狀大體万口一致、新黨の意を遂行せしむ。

(三) 新英學堂 是 德 意 介 心 政 勢 意 廣 南 北

中國前是非常革命黨所創之工作大端所以與南京之辦事處
不離此者因之人力不足是主持到現所以鄭乾輝之辛丑年
後的工作計劃是評定以前黨建議之辛丑年度應辦之大體計今
國的佈置是從此而改之解放區是中心之中心非常革命黨
改革以前新黨各機關之意也或之直與各機關各義之七大黨綱外
說章之制數此以前時期的修正主張是發表之我黨之所謂極左
主義力內政方針是此必要時渡國面國境脫離之老黨以前
之方針之意人員之採擇此以前之改組舊黨之思自其晚新與等十位者未

(四) 子刻秘寶內封記被地三石方強而能

最近數月內四川平漢寧、上海、西安等各大城市之國特の子に秘密傾斜
の材料、大抵古の偵察に破れ毛謾に於て已の可過ぎの速報に改定に於て
以て組織者對に於て 重要者之 秘密の解決に 上の古に重要に
者或は 証據に於て者之釋放に 其中の既に之任務に於て之に於て釋放に
宣伝に於て 其改定に釋放に 実行に之に未 許諾に於て

北朝鮮人民委員會外務局

五、环会、宗教迷信团体利用进行农村的深入和

最近、吾國で統一の持主として、萬國救國聯合總會の成立が、大いに注目されてゐる。該會の組織、
 導きの中心道は、當權の地位、天、地、華、聖、教、會、萬國道德會、濟南分
 會、上海道德會、吾國救國聯合總會、濟南分院、宣道、明倫、宣講、社、光復道會
 佛教總會、山東道會、聖教道德會、明德慈善公會、價佛明堂、山東慈
 悲總會、守正會、九宮道會、仁愛、社會、政務、會、組織、の、名、目、を、明、瞭、に
 明、瞭、に、の、詳、察、を、言、ひ、出、し、不、知、中、の、其、特、工、の、元、任、の、其、其、會、の、理、を、明、瞭、に、

以上三續觀心記中謂前是入三三因成五後至四十二及次第結云云此
九次之三但階段之終極也近于所以表微者其九則非真能顯特工細
上呈其甚大之表微の九凡此二之中只前八所記是善之特而第九則密
細微の破却の所の時也極不沈溺於公の經驗に教訓の可なり以て之を

甲種以上の特殊組織を其各の幹部の中に之を大部分の重要員
 故者を捜索せしむ彼等がその党の特殊組織及情況を比較的正確に
 知るものには甚だ遺憾を比較的嚴重に之を之等時局に及ぼす者
 之れを以て之れは及遠者之は是れに動搖せし之れを以て其の重要
 特殊を能く早しめし之を真正に之を組織を信仰せし及之れは是れ重要
 之れは之れに之れは適當に其の採取せしめ之れは之れを以て之れに利用せしめ
 之れは之れに之れは特殊及び適當の材料の一方面を以て之れは之れに之れは之れに
 之れは一方面を以て之れは動搖及び其の善悪は利用せしめ其の材料を以て
 之れは甚だ之れに之れに利用せしめ之れは之れに之れに之れに之れに之れに

北朝鮮人民委員會外務局

73

秘

五四年八月三日

三六 九

朝鮮以日本公使館

附前駐日公使館

北朝鮮人民委員會秘書

宋重光 蔣英

北朝鮮人民委員會外務局

議定書

[illegible]

第一條 韓白而南國山川恒久不為人所變又其地係接孔之南邊關國意確在孔之南

卷之四

第三條 大日本帝國政府と大韓帝國政府は親善と友好を促進し、

第四條 帝國以後鐵道不_レ得或受_レ外國資本_ノ支配大韓帝國皇帝_ハ其權利_ヲ保護_{スル}

全の危機に成る境地の之を日本帝國政府と連合協定を締結せしむるの所也

北朝鮮人民委員會外務局

工部局大轉運局政府之役自是而後政府以行動之舉動於此是物也今便道是也

大日本帝國政府と前項目的を達成せる爲めの軍略と必要にして是を随機收用するを得る事
大韓帝國政府と大日本帝國政府との相互間の交渉を経て此の爲め後米の本部
協定は公衆意の所を得るに拘りなく三國間の新五說を得るのみ是事

弟不保 本坡納蘭國縣之華船保之人自是而國公署者以爲難辦聞於佳德公船樓協

張曉華

光緒二十九年(1903)三月三日

42 新大陸臨時署理陸軍少將 李址鑑

張三才(長子) 三才三才

特命全權公使 林權助

25

第一次協約

時局の急変に對し議定事項の未定部分の解決は、

一、大韓政府と大日本政府は推薦した日本人一名が新政府の顧問

として新政府の事務上一切の意見交換の施行を

一、大韓政府と大日本政府は推薦した外国人一名が新政府の顧問

として新政府の事務上一切の意見交換の施行を

一、大韓政府と大日本政府は推薦した外国人一名が新政府の顧問

として新政府の事務上一切の意見交換の施行を

光武八年(一九〇四)八月三日

外部大臣 田中義一 尹致昊

朝鮮三十三(一九〇四)八月三日

特命全權大使 林權世

北朝鮮人民委員會外務局

第三次條約(乙巳條約高條復條約)

日本政府及韓國政府之兩方面之然此等利害關係之多數是韓國所成是欲其明
韓國之富強之實是欲其時以至九九年此目的之是則在兩條線之約定也

第條 日本國政府之於日本外務省會議以前今後韓國以外國之地位關係及事務等並
理指揮此等日本國以外文代表者及領事之韓國以外之國民及利益等
保護此等

第三條曰本國政府之韓國其他國所出現將此條約之實行是完全之責任有之也
韓國政府之今後以日本國政府之仲介而為此也國際關係是將此等條約
以又結束是以此是約也

第五條 日本國政府之代表者及以韓國皇帝陛下之代表者所
 謂司統監之專司外交之權此事項是以管理此之權利之高級之駐在之親王韓國皇
 帝之權利及權利是此在曰本國政府之主 韓國之在帝之場及其他日本國政府之代表

北朝鮮人民委員會外務局

臣竊北之地以理事官之選置北之權利在於所 理事官是統攝之指揮下自從來
在韓國日本領事以州之偏北故之一切職權是執行北之 辦理北中 本條約の條
以是北人可實行北之權利の必要是故一切事務是管理理事

第四條曰本國以韓國爲己境於此條約乃約束日本協約條款以抵觸此者爲除之
之此以總司之効力是也

第五條 日本國政府之韓國皇帝以及皇室尊嚴是維持此是保護此

光緒卅五年十月十七日

41- 縣部大臣

木下 齊 純

明治三十八年(元)五月廿七日

特余致公便

林
權
帥

○條約を締結し當時の参政大臣韓圭高이及對以美는 奎이云
 今に記明精神異狀の所

22

外務部大臣 李完用 又外務大臣 李完用 又外務大臣 李完用 又外務大臣 李完用

參政大臣 朴齊純

內務大臣 李址鎔

軍務大臣 李根澤

法務大臣 李秉世

度支部大臣 李承燾

農商大臣 權重顯

學部大臣 李完用

北朝鮮人民委員會外務局

第三次協約

日本國政府及韓國政府は連合の韓國の屬領を南と北とに韓國及び幸福を増進せしむる目的を以て
前條の如き協約を結ぶ

第一條 韓國政府は施設改善の爲にの統制の指導を受ける事

第二條 韓國政府は法令の制定に重要なる行政上の南方を以ての統制の承認を経る事

第三條 韓國國司法事務を普通行政事務並に此を區別する事

第四條 韓國國家官吏の任免に統制の同意を以てする事

第五條 韓國政府は統制の推し進めを日本人を韓國國家官吏の任免に事

第六條 韓國政府は統制の同意を以て外國人を僱用する事

第七條 朝鮮王は東京の日本に在るの調停は自朝鮮の南項を廢止する事

右協約は北の王は日本國政府と相率ひて責任を負ふに本協約の記名調

印を以て

北朝鮮人民委員會外務局

光武十一年九月二十日(一九三四年九月二十日)

内閣總理大臣 齋藤 李 見 用

朝鮮王(光武十一年九月二十日)

統監 侯爵 伊藤博文

合併條約

日本國皇陛下と韓國皇陛下との間の特殊な親善の條を願ふの相互の事情
を増進せる南洋の平和を永久に維持せしむるの目的を達せしめんと韓國を日本
帝國の合併せる直轄地を編入せしむるの合併條約を締結せしめたることを爲す
日本國皇陛下と統帥上將軍府正殿は韓國皇陛下との内閣總理大臣李完用を
各完全代表者として任命す。因に右完全代表者との間の協議の後には合併條約を締結
第條 韓國皇陛下と韓國人民の利益の統一の統制を爲すことを永久に日本國皇帝
陛下に譲渡す。

第條 日本國皇陛下との前條の協定は讓渡する區域を正人並に韓國を日本帝
國の合併せる事を承認す。

第條 日本國皇陛下と韓國皇陛下と本皇陛下と皇太子殿下は以後地方
後裔の利益を其地の他前相の利益を尊重し、保護及び尊重する事有るものなり。

北朝鮮人民委員會外務局

合併條約の元を以て讓渡する區域の利益を承認す。

第條 日本國皇陛下との前條の協定は韓國皇陛下と後裔の利益の統一の統制を爲すことを永久に
譲渡する事有るものなり。正人は維持するに必要なる資金を供與せしめんとす。

第條 日本國皇陛下と韓國皇陛下との間の協定は韓國人民の利益の統一の統制を爲すことを永久に
譲渡する事有るものなり。正人は維持するに必要なる資金を供與せしめんとす。

第條 日本國政府と前條の協定の結果を承認し、韓國の施政を担任する同地の施政
と法規を遵守する韓人の身体及び財産の利益の元を以て保護する事有るものなり。

第條 日本國政府と前條の協定の結果を承認し、韓國の施政を担任する同地の施政
と法規を遵守する韓人の身体及び財産の利益の元を以て保護する事有るものなり。

第條 本條約を日本國皇陛下と韓國皇陛下との間で締結する條約の公刊の目的を以て
これを施行す。

明治四十五年(一九一四)八月三日

統遊子爵弄的正毅

隆熙元年(元一〇〇〇)八月十五日

內閣總理大臣 李完用

太祖肇國三皇甲子隆熙四年元一歲九月三十七代四曆年一五自十九日

合併當時以內國策之
日記記

內閣總理大臣 李完用

內務大臣
外務大臣

農商大臣趙秉德

學部大臣 李容植

凌友初大匠 高永喜

北朝鮮人民委員會外務局

向島氏 白清齋

傳説元更元名氏一人は多量の早の航遊部の水客を向島に就き其の被遊びを
 早く内政より水客を官更に日本に輸入せしめ行政を變換せしめ此の期界上の必
 要を調査し研究せしめ此の韓國の領土を此前提下の三施設を行政の清いものと激
 漸的にこれを森林公園等としてより多數の官更の軍隊を派遣せしめこれを此の
 向島の題に白く紡針を以て示し此の如きものと理論上との向島の行政を
 三三三数学萬國騰を以て示し此の降也三三三の南滿洲鐵道の早展網を以て示し此の
 自清向の紡針を以て示し此の向島の題を犠牲とせしめこれを解決せしめ此の九人
 白の三三三紡針を以て示し此の向島の題を犠牲とせしめ

大日本國政府乃大清國政府之善鄰の好誼の體に於て兩國の利害の衝突を
免れしを確證せしむるに足るものなり精神之を以て一の體を爲すは兩國の利
害を以て是の利害の衝突を免れしを確證せしむるに足るものなり

北朝鮮人民委員會外務局

第三條曰者兩國政府之圖約以(界河)為界兩國之國境言以之江源地方
在北以之定界碑為起點之江源地方之水在內兩國之境界自此以後之聲明就

第三條我國政府之本國船舶開往後，以在亞丁灣內航行，在該處之船舶，其航行之自由，應受外國人之保護，其航行之自由，應受外國人之保護。

最光緒以來南放諸公自以自來國政者之徒等公此領著魏或下力報之謝謹此

南坡以鄰自名創在石邑是也
龍井 向子衡 頭道茶 百草清

第三條 清國政府允准於圖示以北之懸地內自韓民之居住之區域起

域之境界也。徐曰：言氣不說。

第圖條圖所記道北地方龍虎山城縣地居任縣長之義國劉沐叔山陳叔清國

地不宜以爲教訓內情非濟國官憲之在轉民主者國民一板之主持也及可

納稅其他一切行政上或地方自治之一般事務。

在轉改風俗之上有刑罰一切之訴訟案件之清官良吏代者固多釋之權能

○八公卿司裁制施仁の由日本國領事館並に之を委任せし官吏は自國を法廷の力金給

[illegible]

萬國保老國政府之將來者其鐵也其近來國境之近來之韓國公府の韓國
 鐵也其近來國境之近來之韓國公府の韓國鐵也其近來國境之近來之韓國公府の韓國
 鐵也其近來國境之近來之韓國公府の韓國鐵也其近來國境之近來之韓國公府の韓國
 鐵也其近來國境之近來之韓國公府の韓國鐵也其近來國境之近來之韓國公府の韓國

第三條 本協定之締結係以互為協力之旨為前提。故其締結後所生之效力及效力之範圍

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

日本商政乃三民以外之保護所出商部
總辦以領事官商設此事

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

西國金鼓者名

此泉源の東を流るは此の本源の所の標記中の最北の記と其の紅土水の記と此水の記と
 の記と此水の記と此水の記と此水の記と此水の記と此水の記と此水の記と此水の記と
 此水の記と此水の記と此水の記と此水の記と此水の記と此水の記と此水の記と此水の記と

이런 문제를 해결하는 데는 여러 가지 방법이 있는데 그중에 가장 중요한 것은 교육이다.

局長先生

秘

五十七年七月

中蘇友好同盟條約文

北朝鮮人民委員會外事局

東亞部崔英

北朝鮮人民委員會外事局

83

條約正文

84

北朝鮮人民委員會外務局

此以爲善也 此以爲惡也 此以爲善也 此以爲惡也

其他援助支持证及是納稅

鍾文

力使條約國是符合於條約了以後英法言其不能普及世界上之

85

措置を採取せしむべきことありしを以て平和を維持するに必要ありと
思ふ。締結國は、其の國境内における武力を以て不得に戦争の發生を促
すものなり。是の爲め即時に能力を以て交渉成功の締結國の一切
軍事及其他の援助を拒み、本條を聯合國組織の締結國及び其の請
求を經たし、日本に對し侵略防止義務を負担せしむるに成功せし
む。締結國は、之を又對相手方の一切に適用し、締結に及ぶ以前及
對相手方の一切に集約し、之を其の義務とする。

本條締結國は、彼此の完全、經濟發展の利益を爲すに平和國是
以後、彼此の平等を尊重せしむ。領土完整に對相手方の改變期に手附
せしむるは、其の平等を毀壞するに好む作態たるを同意せしむ。

本條締結國は、兩國の復興を便利せしむ。能率を以て世界の發展に
貢獻せしむるは、以後に彼此の利益を以て經濟的援助せしむるを同意せしむ。

北朝鮮人民委員會外務局

本條締結國は、聯合國組織の會員の權利を義務を以て、本條締結國
間の解釋の、影響を以てせしむるに成功せしむ。

本條本條締結國は、當然に最短期間の批准せしむ。此批准書は、以て
是後、重慶に相互交換せしむ。本條締結國は、批准後即時効力を以て、
本條締結國の一切に適用せしむ。締結國の一方が協定に違反し、廢止せしむる
通知を以てせしむるに、本條締結國は無期限に繼續し、其の存続に締結
國の一切に適用せしむ。本條締結國は、本條締結國の効力を以て、
此の締結國に代表し、本條締結國の署名を採り、

北朝鮮人民委員會外務局長

金日成

中華民國國民政府主席金日成

北朝鮮人民委員會外務局長金日成

(一) 甲、米翰：部長閣下、中蘇友好同盟條約を調査し、日本自衛の必要を、
是を部長の政治的立場から説明するに、如何に説明するか、

人上起承保的精神以依據此公女界之旨以自勵是宗旨記也其所以共謀改訂之中
國之道義上以重幣治及英他相濟意者據此以下為同意也

此據物之完全前中國中央政府即國民政府所供給也

二、大連以放順巷口及英台路爲限以中國長春鐵路所屬以爲會議課程中則以以上聯改村之東三廟爲中國之都市也且中國之對外策之商以主權是充于海軍軍力以爲其領土之行政以完整爲承認也。

三、新造最大郵船の除水の止疎政府に於ける同盟と友好條約の爲條を
親睦の中國内政を十分の善を以て之を未だ之を南を親
睦の之を貴族長に因信の証明に之を以て本協会に貴族長に因

北朝鮮人民委員會外務局

簽上並註友好同盟條約之一部分

本部長之貴部長の崇高に敬意を表す

中華民國政府外交部王部長世杰

中華民國三十四年八月廿四日

西曆一千九百零八年十月十四日

乙、運輸：部長閣下、本日は貴部長の熱意を確実の感にお受
け、我々友好関係の調査に、本日は調印の趣旨を特に茲に所
結、國の了解を互に助ける

一、上述各條的精神，以依據其宗旨而論，是與行託託之蘇聯政府之中國之道義上所軍事需要及其他物資之援助，其目的在於救濟此種則完全在中國中央政府即國民政府之供給而

二、大連以旅順港以及其附近營口、田園、長春、鉄路の開發を會議過程の中に

此の北聯政府と東三省は中國の一部を以て中國の對北東三省の
權益を尊重するが如く其領土の行政の完整を尊重する

三、新疆最近事變の關於北聯政府とハミの同盟友好條約の存続を
證明する中國内政を干渉するものなる意思を以てハミは其項を

該條約を正貴部長の國信の証明と以て之の本職廳會に貴部長
の用命又と上述の友好同盟條約の一部の如く本部長と特別協の上項

を該條約と正聯は聲明する 本部長と貴部長のハミ東省の政務を代表
蘇聯外交人民委員部 是日正日部長

中華民國三十四年八月十四日
西一九四五年八月十四日

三、米翰、部長閣下、蘇の北聯人民の其領土の尊重を固く表
示し、中國政府と日本の敗戦後ハミ人民の投票がハミの
此を証明する此項希望がハミを以て実行するを聲明する 中國政府

北朝鮮人民委員會外務局

それ蒙在の独立を當然に承認する 現在の境界を以て
この聲明は民國三十四年八月十四日調印するハミ友好同盟條約の批准
計は斯くを尊重する 本部長と貴部長のハミ東省の政務を代表する

蘇聯外交人民委員部 是日正日部長

中華民國三十四年
西曆一九四五年八月十四日

乙、米翰、部長閣下、閣下の懸念又と解決の接受を見る 蘇の北
蒙在人民の其領土の尊重を固く表示する 中國政府と日本の敗
戦後ハミ人民のハミの投票がハミの此を証明する此項希望がハミを
実行するを聲明する 中國政府と北蒙在の独立を以て完全を代表する
以現在の境界を以て境界を以て

甲の聲明は民國三十四年八月十四日調印するハミ友好同盟條約の批准
計は斯くを尊重する

88

蘇聯政府之中華民國政府之對北
內廷政府之表示北蘇聯政府之
以兄弟之尊重北本部長之貴族長之對北之崇高北
敬之表示北

中華民國政府外交部王部長世榮

中華民國三十四年
西曆一九四五年八月十四日

北朝鮮人民委員會外務局

中國長春鐵道協定

中華民國之社會主義與我國聯邦
協定、中華民國之民政主席以上之社會主義與我國聯邦最
止之多至滿洲之彼此之利益是充介於尊重者是基礎在以上兩國向以友
好關係是視其政治經濟上之通統是其利益之議是以若保之此其
一條日本海關之東三省商運出後中東鐵道及南滿鐵道即由州軍自
總管亦及哈爾濱甲之大連旅順之幹線之合併其一也鐵道之
子也亦是中國長春鐵道之權者中華民國及止之社會主義與
國聯之共同所有之同時共同經營。故共同所允共同經營之應
為中東鐵道之鐵路及中國之共同管理時期之南滿鐵道之鐵路
共同管理時期之內二則設置北土地及工事之鐵道補助之之兩鐵道
直接必要者以其是之二時期之設置以此以外直接之鐵道

北朝鮮人民委員會外務局

使用の供給を必要とする附屬事業を以て其の鉄道支線に附屬事業及土地を賣る中國政府の完全所有を以て越え鐵道に共同經營を以て中國主權下の單獨機構の以て辦理して純粋に商業性格を有する輸送事業を以てす

亦三條縮納國之上被之鉄道其英國所收納之意此之德者平均の而

力多條締約國之英同經此區以上述於鐵道則開孔以中蘇合辦之中國長春鐵
道公司川公司及理事會之組織於同意此理事之十人其組織於
其中五人之中國政府早可派遣此五人其蘇聯早可派遣此已
理事會及省川以設置

不問係中國政府之使爲華籍理事中人是不係指適公以理事長。言此二氣
之助理理事長之言說亦耿耿於心之使爲華籍理事中人言指適公亦副

第五條 公司之董事會是設置九之董事之八人其組織則由其中三人之中
 改訂最早之款應選一人之蘇聯改訂之款應選一人之董事長之德者
 蘇聯董事中之人及董事之副董事長之德者其蘇聯中之人及董事之
 董事會表決時之董事長之投票權及之兩票其蘇聯之代表人數之五
 不係平時以事務之管理為物之理事之中國長春鐵路公司之長下之各任
 人之二人之蘇聯之貨中之人及董事之副董事長之華僑之貨中之人及董事之
 不係董事會之總檢查官副總檢查官在人是任命之及收獲之總檢查
 官之華籍人及中之人及收獲之總檢查官之蘇聯之貨中之人及收獲之

本條の如きは鐵道在藩の如長副如長、科長及重要職の如長は、鐵
 道理事會の任命に、鐵道局長之上項職任の人選を以て、如長に
 如長、鐵道會の理事を局長の如長を以て、以て、局長之上項の人選を
 以て、如長、局長の如長、副局長は、鐵道會の如長、局長の如長、
 以て、副局長は、局長の如長、局長、副局長、科長は、鐵道會の如長、
 局長を以て、充任する。則ち、如長の任命は、

不保中國政府之早以鐵道之保護此乃昨之及之中國政府之意為通商
及鐵道經營者組織之鐵道之保護此乃必要之策為設備之
口言之其地各產業物運搬之破壞之損失之巨至矣其鐵道
經營者之鐵道之正當秩序維持之此就鐵道經營者之固有本條規
以執行其及之中國政府之與聯政府之相議之決定其及
不保上鐵道之日本政府以戰時之蘇聯軍隊運輸用之提役之見也蘇

聯政府之此列軍之越境之軍需品是運搬至叔和之口之海陸檢查官之
免除此該軍軍需品之檢驗之口之缺想該軍之担任之蘇聯之武裝之
護送下之貨物之放進之口之口

初上條上鐵路之蘇聯取價之少以此一取之越境運輸之少蘇聯領土之早之大通旅順之口之往復直接搬運之貨物之應有中國國貨之其出口之貨物之免此之項貨物之中國領土之出口之應有中國海關之檢查之此是也

在泰國政府之政策中，以泰國之板孔山上鐵礦業補上必要之燃料是為第一要務。是保證。

在保護上鐵道之權者中國政府與該鐵道公司橫北稅金是中國政府所納付者
 在關係鐵道之中國長春鐵道理事會內亦動資金是使該公司同意
 於之數額之鐵道工程以保其利權也

北朝鮮人民委員會外務局

不主條約範圍之應否本協定調印後仍由內台議決於是批准公重
懷山以共何解諸君以上缺點外章程是定於大該項章程之應否仍
由內台議決而國政府以報告外台批准是也云云

本協定の條は、
 資本協定に依りて、
 兩國政府と各代表
 委員との協議を以て
 決定せらるべきこと
 と規定され、
 然し、
 本協定の範圍内
 に於ける、
 兩國政府の報告の
 批准を要するもの
 は、
 本協定の範圍外に
 属するものと見做さ
 れるべきことと規定
 されている。

不立條本關定期限三十年之定也期限以前後之中國長春鐵
道此鐵道一切財產之權者無償也中華民國所有之鐵
道八條本關定之批准自早以前亦已撤去所

中華民國三十八年八月十四日

一九四五年八月十四日 於平壤市

中文、朝鮮文、各三部 中文、朝鮮文、同等北新力の印刷

中華民國三十八年八月十四日 於平壤市

北朝鮮人民委員會外務局

旅順大連港口船隻

大連協定の関心は茲の中華民国に止るは社会主義英和國聯邦の友好
同盟條約を調印せしむるに止るは社会主義英和國聯邦と中國管轄の
關中國東三省を全權の主权を保障せしむる尊重の中國の良不可分離の
協力の是に止るは社会主義英和國聯邦と大連の対等の二物質物進出の
利益獲得を保障せる保障の中華民国との同意に

(一)本港是一自由港也是通商口岸在國際貿易及搬運的利便上確有開放的
 (二)中國政府之別以香港是英國領土所以該國因港的船隻皆須向香港之海關納稅付站
 (三)港府行政收之中國的關稅也香港之主權在中國長春鐵路局長蘇聯人自中日的
 交涉事已大獲市長以同意意見之後日立止於港駐港口副主任之日一之手續而
 取孔的華籍人與中日的交涉事孔的水是後也

四、本運を多岐のそ五箇受に面白旅順協定四條を海運根據地を移轉國內の

北朝鮮人民委員會外務局

已令到各該處
對照原時該處城內之
關防並重要統帥內之姓名

中國の貿易は該自由港に於ては中國長春鉄道を蘇聯領の直轄に貨物に於ける該領の火車の上鐵道を経由して該自由港の運搬を輸出入の該港に設備する為めに搬入を必要とし木材等は之を關税を免除し、又貨物を運搬する為には車輪敷を増加せしむる該自由港上より中国の各埠頭迄其他各地の貨物は應爲中國の輸入税を納付せしむる中国の各埠頭の該自由港の貨物は又各地の輸入税の時と同一に継続的に輸出税を徴收する期間の限り從價輸出税を納付せしむ。

(六) 本協定自期限之三十日以前迄

七、本冊是地產誌，早已刊行，是發生於兩國全收稅義之本冊，其記載係採自記，即確可信，茲本冊是中國及在部是依此之中國及在部之初刊，以見其

卷之五 鄧中國改行軍功止賊軍事擒將當同以同竟竟此以非所

該區域内の上陸軍事指揮當局に完全なる保障を以て朝鮮を爲すに由り
行政當局の北進議を該行政當局の決定に及ぼし已に萬事協議に於て所
在の北進事件の北進に對する中韓軍事委員会の議決の要請に對する

北條上陸政府の二〇二二條の北進區域内の上陸權利に及ぼし駐劄海軍
軍に在り其駐劄地を決定せしむ

北條上陸政府の上陸に對する該行政區域の航空安全の必要に應じ塔台及
其設備を自ら建設せしむ

北條上陸政府の北進に對する該行政區域の建設に及ぼし一切設備及公産を
該行政當局に譲渡せしむ

北條上陸政府の北進に對する該行政區域の建設に及ぼし一切設備及公産を
該行政當局に譲渡せしむ

北朝鮮人民委員會外務局

本協定は北朝鮮人民委員會外務局と北朝鮮人民委員會外務局と

中華民國三十四年八月十四日

西曆一九四五年八月十四日 北朝鮮人民委員會外務局

協定

今次中止英日対峙作戦の案は、上陸軍隊は中國東三省の要を後
出陸軍總司令官は中國行政當局の關係の協定の、中華民國の民政
に止るは社会主義共和國自取高止るは主權を今次対峙作戦の言は上
軍隊は中國東三省の進入は後上陸軍總司令官は中國行政當局の關係を
兩國間の現存のと友誼精神の同體關係を符合該議定條をれたるに
い上陸軍隊と軍事行動の結果は國境の中國東三省の進入は後作戦一切
事務は關係をたつた作戦の必要は時事内にと上陸軍の關係は
電文（腹稿）は華民國に民政府を代表する下米道をたつ助理人員を
予を米道をたつたの回復は領土の互に任務を執行は
（東敵全員の肅清は區域のたつた）は中國法律の依るた行政機構を
設けるは指導は

北朝鮮人民委員會外務局

- (A) の回復は領土の中國軍隊機を協助はるは正規軍及非正規軍
を包含するた上陸軍隊のの合作をたつた
- (B) 中國行政機構は總司令官の聯繫を保證はるは中華民國に民政府
と軍事代表はるは米道をたつた上陸軍司令官は駐在は電文（腹稿）
い上陸軍總司令官最高級の地帯内はるは華民國に民政府の回復は區域の行政
機構を尊重はるは華民國に民政府代表はるは上陸軍司令官を経由はるは保持聯繫はる
(五) 但回復は區域ののたつたのの直接軍事行動を停止はるは其地帯の維持
維持はるはるは華民國に民政府（電文（腹稿））及民政機構と上陸軍總司令
官を一切協助はるは支持はる
- (六) 中國領土のたつた上陸軍隊の關係は今人々と上陸軍總司令官の官廳は
此項協定條は中國領土の人民は上陸軍隊の對はるは犯罪は條件を包含
此項協定條件の軍事行動は地帯内のの米道はるはるはるは上陸軍總司令官

（六）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（七）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（八）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（九）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（十）以協定之日本國與中華人民共和國之關係

（十一）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（十二）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（十三）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（十四）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（十五）以協定之日本國與中華人民共和國之關係

（十六）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（十七）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（十八）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（十九）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（二十）以協定之日本國與中華人民共和國之關係

（二十一）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（二十二）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（二十三）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（二十四）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（二十五）以協定之日本國與中華人民共和國之關係

（二十六）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（二十七）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（二十八）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（二十九）以協定之日本國與中華人民共和國之關係
（三十）以協定之日本國與中華人民共和國之關係

北朝鮮人民委員會外務局

局長

秘

一九四七年八月九日

東北戰況

朝鮮人民委員會外務局
東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

東北戰況

(五十七) 17月1日 五十七日

我軍夏那攻勢を五月五日早朝、東西南滿洲に執河、
冀東各巨戦場の如く、開始せし。同時に、敵の対北作战（進
攻的）の展開を相互配合し、七月一日の如く、五十日連続し、
敵殲滅八万余名、四三巨縣城のうち六巨を占領し、
（如く）を收復し、敵の占領地區十二万六千余平方キロを
（如く）を解放し、人々を約一千万（冀東を除外）し、
鉄道を控制し、二四五百余里に及ぶ。

敵의 우리에 대한 東西南北의 葉室 執滯 各根
據地의 分割計劃의 所謂 二樓動字衛의 佈置는
完全히 粉碎된 것이라 하되 四平衛의 重兵을 固守하는

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

北甯路 校長 走柳地帶

收縮
所謂
重奏
防禦
所謂
收縮

昨午四平街戰役以敵軍之侵犯北地區之九仙大坡市等

除北外四邑 以人解放北外邑 以人早一忘康北

局勢已變，今後我軍作戰，有利必條件是

創造 礼典已
成山岳 战果累累 列是
初步的统计 以训勉後

敵軍官死之一覽表

番号	職別	姓名	数字
七十一軍	參謀長	馮家毅	一
三十八師	師長	韓增棟	一
大連警備二師	"	任忠孝	一
獨立三師	"	毛景岑	一
合計			二三九一

姓	名	字
職別	教數	備
考		

李軍一面師	師長	陳甫文	—	敵俘傷以合計之十
三軍九二師	副師長	鄧麟光	—	但師以兵力可也
青二師	副師長	陳望詳	—	
青二師	校以上	軍官	四次	
り	校以下	官	五八九四六	
合計			五八九九五	

敵滅滅整暗番
字教
敵滅滅整暗番
字教
敵滅滅整暗番
字教
敵滅滅整暗番
字教

七軍八師	一	新軍第三師本部	一	七軍直招澤砲營	一
七軍九師	一	新三師一二二團	一	新三師新三師二營	一二
		刑一走			

久土庫	暫二師	二	七軍軍直特務團	一師師三旅、	別二連	二
八四師						

合計	四	合計	一	八
		三軍五四師一團	一	
		三軍五四師一團	一	

青_三師、暫_三師、獨_三師、偽_三軍_三爲_三八_三團、保_三團

保久團 保七團 保七團 昌黎保安團 合計人數較三久七〇經

[illegible]

少 通	少 公 主 峯	少 懷 德 昌 黎	少 雙 山
一	公 主 峯	昌	一
	一	黎	
一		一	一
少 松	少 遼	少 雙 陽	少 黎
陣	源	通 化	樹
一	一	二	一
松			
陣			
一	一	二	一

美武器捕獲統計表

[illegible]

104

秋

一九四七年八月一日

國社黨外由來

北朝鮮人民委員會
外務局東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局

論の北は一紙刊物を取扱れども、外人の之を自由評論派と
早き。馬來、張東蓀は一九三〇年上海の時事新
報を主筆の時、同社主義の主張を高揚せしが、一
二年北平の五ヶ教鞭を習ひ、その時、党綱數條を撰
じ、之時張君勵は燕京大學の校長、兩人の商議は
毫の差世報主筆羅隆基の以て、周生北を發起
組織せし、周生北組織雜誌を發刊す。之際、張君
の學生の一部、政客の以て、北平の總部を設け、
天津、上海、武漢、漢口、人部を設立す。以て、周
生北は天津、北京の活動せし。
一方、當時工農革命の好む、恐怖を、表
れ、民族主義、共產主義の、反對

此を提出せしむ。在り方面より當時形勢に於て政策の
不協を以てししと見ゆ。二つは地位を分取するもの、新
民主政治の、三つは提議あり。該提議は王中より發表され
宣言の、中國の現在に於て政策の、性質論と云ふ。國民黨之
腐敗化あり。共產黨之要化あり。青年黨之頑固化あり。行部
論と云ふ。國民黨之官僚化あり。共產黨之土匪化あり。青年
黨之學究化あり。主義論と云ふ。三民主義之混沌あり。
共產主義之激進あり。國家主義之背式あり。時代論と云ふ。
國民黨之前期革命あり。共產黨之混沌時代の犧牲あり。
青年黨之過渡時代の附庸物あり。此の三つあり。

九八以後、二つは當時環境の適度あり。一般人の口味を
引くが爲めに、三つは活動的内容を、増加せしむ。抗日救國の

北朝鮮人民委員會外務局

旗幟を提し、政府の外交政策を攻撃あり。積極的なる
救國運動を提議せしむ。これに於て、大部分は、本身の
要求の反映あり。同時の三つは、二地位を論じしあり。
これは、政府の参加あり。一手段と見ゆ。完観上より、
是れは、進歩的作用を引起しあり。一部分は青年學生の
好評を得。同時の三つは、卒業後の出路を主として圖謀す
るものあり。一部分は青年群衆の健康維持あり。一三八派派
争爆發あり。これに於て、救工化あり。華北の激進あり。
是れは、愛國青年を、逮捕するものあり。張君勵之、党を組織
せしむ。可成り易く、是れに於て認識あり。結局の、羅隆
基、梁寒秋、張東蓀、徐溥霖の相議あり。党を組織あり。
衛生社臨時代表大會を、召集するものあり。正式に國家社会党を

二 同 張 介 理 論 以 主 張

042
24

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

이 이론의 理論의 公義의 正當性 絕對愛國主義의 正當性
 客觀的인 公義의 正當性 一、人民의 愛國의 公義의 正當性 自國의 正當性 權利의 正當性
 이의 正當性 二、國家의 權利의 正當性 國家의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性
 이의 正當性 三、愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性
 이의 正當性 四、愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性
 이의 正當性 五、愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性
 이의 正當性 六、愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性
 이의 正當性 七、愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性
 이의 正當性 八、愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性
 이의 正當性 九、愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性
 이의 正當性 十、愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性 愛國의 正當性

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

三
回
觀
光
之
組
織

類似

北朝鮮人民委員會外務局

過去該黨之中央組織之總務長久谷川張民願、張東蓀、陸鼎擴、羅文幹、羅隆基、諸君來。湯翰銘、盧惜陽等八人爲總務秘書之張民願、組織處主任之諸君來、宣傳處主任之張翰銘、又書記主任是陸鼎擴、執行處主任是梁實秋、其他之梁秋水、徐介勉、潘覺旦、潘光週、胡石青、王有稿、徐鴻霖、蔣勻田、江偉、章士釗等之。是以該黨之重要分子はこゝに在り。彼の張東蓀、羅隆基、梁實秋等之院外該黨之脱離者之湯翰銘、諸君來、陸鼎擴、梁秋水等之先鋒の如く敵軍に投降する。羅文幹、胡石青等之死者の如く江津、章士釗等は該黨を否認する。党員潘光週之民族同盟全國臨時代表として、亞党を破壊する。以て此等三人は（因記号）提出され、現在之組織を以て重反解之勢力を喪失す。こゝで會議は閉

惟此頃之頃をさうの計れられ

秋成前北平與臨時の党より六百名、此は北平の四百名、
香港の二百名、南東、上海の七十八名、武漢の二十名、天津の
五十八名、四川、山東の二、該党の支部をさうの計れられ、
現任重慶南
人の此頃之頃、後の党より支部を、停止され、
家名の十四名の總部を設置され、西南企業公司を、該党
の事業機關を、此頃之頃、其党より成立、大體は官制、政
府、統制、選挙、教授、著上層分子の此頃之頃

過去因に党の内部に、兩派を、此頃之頃、一は張君、
隆基、梁安秋、此頃之頃、張君の、陸鼎、張君の、
鳴、馮、白、劉、致、遠、張君、著上層分子の、
此頃之頃、兩派の、此頃之頃、張君、恒、常、之、選挙、之、
北朝鮮人民委員會外務局

此頃之頃、張君、梁、羅、之、張君、梁、羅、之、
及、張君、梁、羅、之、張君、梁、羅、之、
南、書、信、之、張君、梁、羅、之、
此頃之頃、張君、梁、羅、之、

該党の機關紙に、再生の、此頃之頃、
主、張君、梁、羅、之、張君、梁、羅、之、
之、張君、梁、羅、之、

四、因に党の政治活動

因に党は一九三三年の能成、此頃之頃、
愛國、此頃之頃、青年、學生、之、
此頃之頃、張君、梁、羅、之、
他、此頃之頃、張君、梁、羅、之、

北朝鮮人民委員會外務局

幹江陳耀王幼樞等之該黨以國係爲重此勝鄭之工
 是以汪派及CC等之親密司故也力主參政會上的何工等
 是德可昭之人望之汪議長何川感謝北平提議書可也
 抗戰問題上的何川因社會之抗戰之主張北平何已張展
 勵一般之抗戰之主張北平何川抗戰的對策何工等是
 恒常悲觀言論是發何川相否引動搖北平表而抗戰
 例是是也一九四八年參政會上的何川任輔衛北平何
 敵何北平何妥協是主張北平何工等之戰爭是是北平何
 時局上的中日戰爭之解決何北平何工等可也
 一九四九年張君勱之中華大夢何川清漢何川何國家
 何戰爭何北平何自然引平和戰爭何兩種主張何北平何
 何是免於今日北平何戰爭是是北平何對策是是北平何利北平何

團結團體上的統一 抗戰初期 四社黨之 及其所圖

北朝鮮人民委員會外務局

党の州利用を爲すに 己若衆党を反対す 張君の部は
 省一九三八年青年毛沢東先生の州に出るに 公開書信を出
 入路軍の使命の指揮を完全に甘んじ 蔣介石の州を支持す
 特選を敵情に對して主張し 則ち主義の信仰は
 敵情を以て後の事及び其の字を 配合し 入路軍を欺瞞
 せる 當時政変に出る 自身の州に手を加ふに 乃至激
 しい者にも 實力を補充すに 其罪惡を 糾弾す 及通敵の
 数倍以上の 予計の州 國民總動員を擁護し 國家
 統一を妨礙し 行動に 已む者に出る
 外交上の州 己を 極力 擁護す 贊揚し 抑遏
 の技術的發展を 強調し 訓練を 嚴格に 己の 生聚の対し
 叶極力 欺瞞し 悔辱し 全土聯民族を 敵対視す

北朝鮮人民委員會外務局

主張으로 承認하기의 뜻이 있는 張君은 本人은 國적을 喪失한 外國人
 官職에 任命되는 事는 不可 한 但 現在의 地位에서 以한 早前의 事
 至 吾 後悔하는 意는 ない 然るに 以하여 太平洋戦争의 爆發
 以前 國民黨은 日本 及 朝鮮을 民主政體 同盟의
 參加者였을 因하여 重慶의 抑留者라 民族各院에 取捕
 되었나 今 早前 後는 國民黨의 對하여 惡感을 起하게 되고
 漸히 共產黨에 接近하게 되었나 少く 敵視態度를 取
 하고 居る 然るに 今 結局은 共產黨이 然하는 自身은 存在
 하여 變換하는 事를 알게 되었나 以한 因하여 軍事上 變換이
 緊要 되었을 事에 今 共產黨 協定을 二回 行한 事은
 明かに 今 根據地를 建立한 事 消滅의 危險이 然
 なる 事을 今 意하는 風이며 今 共產黨의 中國을 爲한

北朝鮮人民委員會外務局

二二五 現政權是 除外北軍外 二二五 恒常政策
 要求北軍 以是爲準 五四年末 因北軍會
 單獨司時局 財政主張 發表北軍 建國前
 二二六 北軍 北軍 因共黨關係 決定北軍 決定北軍
 實能解決 辯論 二二五 必以 黨 政軍方面
 着手於此 認定北軍 一軍 一軍 一軍
 明白 宣佈北軍 北軍 認定北軍 北軍
 防是北軍 黨爭 北軍 北軍 北軍
 輝王 同軍 北軍 取扱 北軍 北軍
 必是 北軍 北軍 北軍 北軍 北軍
 北軍 北軍 北軍 北軍 北軍 北軍

SHIPPING ADVICE NO 2006

~~BOX 1~~

ITEM 36

Box 11

Copy 1

115

各方面的人盡量轉化到共同之點，最低限度中必

為三黨————政體之德者此時國民黨以補其之缺是特瑞也

改發
改發

第三阶段——民国与民国的关系——承认北平主权的人民

此四順德水之窟之
存能滋其可已
遂有之搬運詭其可已

이러한 것은 氏를 改姓의 正軌를 建立함이 다 張의 心

辛巳年十二月廿五日
午時大美晚報記者何對孔

中國問題四對社
韻詠三卷表北風
卷之五職教三
擴大

主權在
即時聯合政府
威亞拉
孔美

國人民黨이 그중 安心할수 있는 人物이

國三商保和司 互執互用此使司 改後協商會議印

张君衡、张东蓀是会议上的人，国民党时姓孔。

北朝鮮人民委員會外務局

力一線以圖爭是孔也。已現在否。政協憲草修。政原則。元

堅持原則 國良覺 政協決議 軋西復 升列乙陰

樓山及村社已 已之 民之 人士 石集市 加切 有之

이 政 治 上 的 面 面 國 民 黨 的 村 社 主 義 以 蔣 之 最 近 2

言效の誤謬語に
官職の是を可と
勸礼を云
拒絶を云

青水山記

以上所根據此則國社黨之現在民主運動之一地位

이런 것들이
한 가지
동작의
힘이
환경의
동작

을따라 그의 熊渡는 渡他山을가다

國民黨中央調查統計部之沿革及其將來
國民黨中央調查統計部之前身是清光緒年間之國民黨中央黨務調查科。民國初年之軍務委員會調查科及北伐後之國民黨中央黨務調查科。民國四年日本之投降以後，此部遂遷至歷史階段之三三制，其特點在於其組織之變遷。此部之變遷是為準備於和平時期而設，其目的在適應日久之三三制。

中統高外各縣史蹟故址之分布情形如下

甲戌仲夏

元々、
 初創時期、
 以後、
 形、
 任科長、
 査料、
 元々、
 現在、
 元々、
 秘、

北朝鮮人民委員會外務局

調查材料の時期は、昭和二十一年三月から四月にかけて、主要な施設を調査した。

[illegible]

三三三
 一、時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する
 二、勢力を集中し、一、二の時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する
 三、勢力を集中し、一、二の時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する
 四、勢力を集中し、一、二の時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する
 五、勢力を集中し、一、二の時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する
 六、勢力を集中し、一、二の時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する
 七、勢力を集中し、一、二の時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する
 八、勢力を集中し、一、二の時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する
 九、勢力を集中し、一、二の時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する
 十、勢力を集中し、一、二の時期の反蔣期は極大に削弱の基礎を築き、蔣統率を威嚇する

不_レ乏_二元_一上海特科員修人頭順章孔教義信調養料之報應是利國光也特
務工作政策を加強し北支の(順章名田矢特工科者其位者也)。

一滴順筆是利南和訓
練並是財財不務
勤者工改花可以

設計委資全意成立以專以之救民是樓繼光以先任之收銅根即

北朝鮮人民委員會事務局

等八人。於此可見。同時。各省。商。民。及。軍。民。以。調查。重要。之。處。可見。
 不。宜。從。早。而。報。徒。三。是。二。特。工。組織。本。身。的。利用。以。見。例。余。和。是。派。以。四。
 北。平。所。實。的。以。細胞。工。作。是。發。展。也。又。都。有。生。中。英。而。北。商。米。利。著。長。明。見。其。
 是。派。以。四。北。平。所。實。的。以。細胞。工。作。是。發。展。也。又。都。有。生。中。英。而。北。商。米。利。著。長。明。見。其。

報知皇利而己其意固以已之能為己之利也

[illegible]

[illegible]

嚴重之破獲是也又自中統以來人會報告中以吃水之
 水剿之軍政之會重也及自北方面言之自首賊黨之松行水
 流是松行水也此方面言之白區之中文組銀是流是松行水
 向忠茂(物性)李比松、袁炳耀、余昭、盧福坦、盧忠亮、
 王云程之逮捕水也、然由軍部、五津、省本之組銀、伏
 省本檢閱之破獲、及三省之米、晚等地賊銀組織之破
 中其特務隊之剿除也、上海電台之破獲也、一九五
 全國人民收銀之剿除也、此時以米、晚、高、銀、新、
 口名、下、般、收、普、通、員、三、萬、不、十、人、之、逮捕水也

七、常暴屠竹塹縣令即是被趙匪以抗賊不利亂及引以中統引
特工王不在此抗日及英之捕心意是切早已思以不氣也中統局

[illegible][illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

是指不之華。其他各地之重要叛徒之亦是中共的此等之北望也。此時期的組織上之在而是混亂不堪也。一九八九年之蔣是CC之復興者，亦有之也。以是之局面是應付不力而所以內部派別之特工組織系統一不不物所以其軍隊亦力大都是因在不知陳立夫是部長之在北之四組至今不知CC之吳南光、徐恩曾、復旦之鄧梯、鄭介民之組織使之介任。以此方面之是CC之不面之陳立夫、周佛海、復興方面之戴笠、賀衷寒、鄧文儀等代表之數次之經部協商所以統一的特務機構同一軍事委員會調查統計局之成立不知也。陳立夫是向長之是陳炯（南京警察廳長）是副局長之是已為二處（特工總部）部長之徐恩曾、力三處之長戴笠。但蔣對計劃之永久之失敗、雙方衝突之甚不見以調統之向長陳立夫之失陳立夫所以力三處指揮及不知之下層機構之合併是不該之原因也。工作之影響者是此等之高級特工之特工之四只（例：朱庇之稅務所職員之在此

[illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

四月八、九、十三日特情之件以次發覺等事。至早到競考是舉行在及是提出。今
 年五月四日三批片「一」批三少運動（七）批六の批六（二）三少 二災擊事之件の元足
 〇を補助並に之を提示、一九四五年五月の 〇を明確に指示して此に、「先般の件は自
 前中心工作の完成を急ぐ外を此の特情早く到達するに、以後早く特情之件の中
 統高の中心中心工作の

[illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

만
두
것
이
나
한
수
提
出
한
것
이
나

[illegible][illegible]

[illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

三 敵愾以毛豕以刺我覺組織是破壞

[illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

[illegible]

史後方以終亦九留民在一日以徐見曾以何表以而表記之著書

日新時生也各種死部因本意也
 組織之生也今夜隱者其極的必家也子初積極的
 事或已之中線以表義之極果以今夜隱者其極的必家也子初積極的
 組織之生入此世而動有也把握之也隱生之好情以是竟教之以以在檢束
 施于與此也最所上海辦學處主任李元博之上海所謂中國人產四

[illegible]

中統三年の各地の解放は、好例の封鎖を交通を断つて、現在の解放区は、
 日機を善用して、人の足は、水は、山は、其區の侵入を阻止し、
 杜平津等、人の足と、善地の知識、子息を、選擇に準備せし、解放區の
 支隊の侵襲を、各隊の、大量を、天の侵入を、注意せし、
 諸の、三九の解放區、特例の、命令、の、過去、收集、一、般、情、報、を、早、に、
 以、政策、の、対応、破壊、の、進入、を、中統、と、各地、の、戒、相、減、免、を、早、に、
 乙、各地、特、情、を、指揮、し、乙、此、項、新、の、各、能、能、方、法、を、提、示、の、長、久、の、

迎接祖國民主自衛戰爭的勝利！

自從民國十六年以來，蔣介石叛變了革命的「三民主義」，破壞了第一次國共合作，勾結帝國主義，反對人民，打共產黨，以便進行他獨裁專制的企圖。就在這樣的情況下，引進來了日本帝國主義。發生了一九二八年「二二六」軍變，更由於蔣介石叛政府的抵抗，日本就毫不費力地佔有了東三省。第三年又來打上海，再過一年侵入熱河，察哈爾，蔣介石政府還是不抵抗。

過了「一年」(民國二十六年)日本侵略軍進北平，佔領了北平城。但是，這次全國團結抗戰，蔣介石原來是不願意的。他一心剝削同胞流之血，消滅異己，保存實力，企圖維持其獨裁統治。不積極打日本，想滿腹算盤將會計算重慶和入駐自己的軍隊八路軍和新四軍，表面上抗日，暗地裡勾結敵人，並派大批國民黨人，並派人到軍隊找降敵的人與敵勾結，共同來進攻人民和八路軍。新四軍被敵人集中到國來的解放區。六年而蔣介石更親手制遣了一慘劇事蹟——與敵勾結，殺死成千萬的將士有功的新四軍形勢。蔣介石從來就想與敵妥協，企圖投降，而被共產黨所揭發被人巨力量所制止了。

可是，同胞們！我們真想不到八年犧牲奮戰換來的祖國獨立，被蔣介石集團出賣給了美帝國主義！創傷未復的國土，又被內戰的炮火破壞，先期獲得血戰野心的抗戰成果，被獨裁者蔣介石搶奪完，隊號絕了！我們流過汗，流過血的同胞又發覺官方也趕到內戰戰場上去送死。在八年抗日中，衣食不周的同胞，現在更成批地摧殘死和自殺這是誰造成的？這是一心貪官污吏，野心強盜，人面獸心，易人易國，血為所欲為而蔣介石獨裁集團造成的。

但是，美國的錢和火藥不從土統的、他相繼而來。美國商約，將中國主權完全出賣，換來美國防軍火金錢。他又扣了無數鈔票來做戰費徵發，占區的糧食來做軍糧。抓了成百萬人去送死。這樣一來，得占區當然工商業倒閉了！田畝荒蕪了！糧食短少了！人民餓死了！不願被死的和敢死的人民都起來鬭爭學生起來罷課，工人罷工，教員罷教，來反對飢饉反對內戰！沒飯吃的人起來搶米。有力的拿起了武器發生「民變」，這種人民運動已普遍全國。蔣介石用屠殺、用監禁，都止不住。連他坐鎮的南京上海都搶米。罷課、罷工、南京近郊都發生了民變了！

相反的人民解放軍却越打越強大。戰情越看越進步！因爲他們保衛人民的利益，人民就擁護他，就能從人民那裡得到無窮無盡的補給力量。現在人民解放軍已有近規畫三百餘萬，民兵遊擊隊三百餘萬人。他們已把從將軍那裡繳獲的槍械將自己武裝了起來。廣大人民，在百三十萬共產黨員的領導下，一定能解決，徹底乾淨消滅人民的敵人！而且這一天也不會很遠了！

同胞們！爲了恢復我們民族繁榮的單身成就，爲了恢復我們祖國之偉大，我們必須奮鬥！牛馬！爲了保障我們自由民主的生活，我們要用一切力量支援祖國人民反獨裁賣國的自衛戰爭。盡一切力量徹底消滅美聯聯合的進犯軍！

- 口 號
- 一、紀念七七。北朝鮮全體衛胞。團結起來。積極支援祖國獨立。和平。民主運動！
 - 二、紀念七七。反對獨裁。附戰賣國的蔣介石！
 - 三、紀念七七。擁護中國人民領袖毛主席。及其領導的人民解放軍！
 - 四、紀念七七。反對美國干涉中國內政。美國立即撤出中國去！
 - 五、建立真正民主的聯合政府！
 - 六、中國人民愛國自衛戰爭勝利萬歲！
 - 七、獨立和平。民主。富強的新中國萬歲！

達北西北前東南前南不北并與北是組織北以同時以東南西北地方以
秘密訓練北是組織北以我通以派遣北及是進備北北以敬道者備選中
黃手又杜維一余振林陳秋中李是主持北北以政務而商會議訓北非
北北北北乙主張是着表北北以最近北北計劃北北非是義北北北北北
殺而北北我解放區人民自身自是混亂北北以現在北北計劃北北是所謂北北
是北北政務北北是激南北北北以

四) 予初秘魯覺門於祀被墮之巨焉 漢初所祀

最近數月內之平漢路、上海、西貢等各大城市之國幣均早已秘密組織
以行高、大都市之債案以破此毛謠形似已見之明證素因東南之政治形勢
以定組織與計劃也 重要者有 秘密之黨派此 二、三、五、七、九、等黨派
者或已組織之見者有之釋放也 其中之既已之任務亦已見之已見之新黨派
宣戰也 其政治形勢放之與否是之未詳識也

北朝鮮人民委員會外務局

(五) 聯合、宗教、迷信團體之利用。以農村之深入而

最近者華中統制之時云云 萬道設國聯合總會之云云之云云 聯合會領
導者云云 一心道云云 萬道設國聯合總會之云云 萬道設國聯合總會
云云 一心道云云 萬道設國聯合總會之云云 萬道設國聯合總會
佛教總會 山東道會 聖教道總會 明德慈善公會 僧侶明堂 山東慈
悲總會 守社會 九山道會 社會救濟會 辦理社會之云云 社會救濟
會 深入云云 祥泰云云 社會救濟會 社會救濟會 社會救濟會 社會救濟會
大如前記云云

以之爲鑑觀世之說中國者元一五三氏咸有後至其言及於儒術者必一
此其所以二也陶穀云餘通志云近于漢以養後之言此乃其本經類考特工經
上皇此蓋大志養後之處見此多與中子訓常所附記是書之特云乎哉

[illegible]

北朝鮮人民委員會外務局

復元の杭州の直屬支部を成立せしむ。同時の組織の意は實に今後
を要災に當るを救済すの組織に任務を著せしむ。國情に此種
活動は現狀大後方のみならず前線の至る進行せしむ。

新英產院 是 船機部 介紹政訓所 是 廣東省 以

中調局を非常委員会に改組して、工作の火端を以て東京の辦事處
 に駐在せしむ。因に、人力化政策を主持せしむ。日 敵對關係を辛丑年
 度の工作計劃に評定せしむ。新建議を辛丑年度應考の大膽批判を
 因にの佈置せしむ。又、公にせしむ。解放道を中心として、新常春の定案を
 改定せしむ。新文藝政策を立案せしむ。或は、直隸省黨部義を、七大党綱に
 就き、辛丑年 對敵工作の 時の対応を主張せしむ。義義の 感覺の所謂極左
 主義及び、敵工作を以て、必要時、漢國頭、國境脫離を主張せしむ。因に
 人力化政策を、人員を採擷せしむ。隊伍、番徴、總管、方統、新軍等十個を奉

[illegible]

信部印

7

秘
密

一九四七年五月十五日

鴨綠江對岸「中國人民軍中央軍」

非法行為調查

北朝鮮人民委員會秘書長

東亞部 崔英

北朝鮮人民委員會秘書長

三九四風三月辛丑日壬子時雨潮潮水出所對岸外馬台市川駐丸丸宅中央軍口長鏡
〇三 三農農射水

五、九四四日午後三時。方領義州郡管內於春陽社所中央陣亡之日本隊
射死。於島嶼中隊所之中心之員傷者旅。

三、就其範圍：

北朝鮮人民委員會外務局

一名寫像。地方人以物品是奪去。

三、不問這「自由」的呼聲，是否發於社會中，實收地，否不良輩的「自由」侵入，以及是否真見「自由」的實現，亦非吾人目的。是實成為事實已，是知能也。

三、九四迄二五日止，予前五隊黃草坪村內中安軍約四十名以下未嚴封越境，被劫掠者結果中安軍之我偷山南莊長銀一〇數百財物已退却死（而不被害無）

三、一併完結其日之後此條言介道草埔好步的與順順地不介夜輩之。名曰黃草埔山下沙
我境北的約言上圖交收北統果敵不夜輩之在此也。我側被虎無花

北江口に中央軍の三つの不法射撃

一九四七年三月十三日頃、海軍部管内新川分駐所対岸の駐屯地に中央軍の三つの不法射撃あり。不法越境あり。朝鮮人婦七人の射撃あり。

一九四七年三月十三日午後一時五分、海軍部管内新川分駐所対岸、地帯村の朝鮮側を向けての射撃あり。不法射撃あり。

五、朝鮮総督府内。

一九四七年三月十五日午後三時五分、中国の丁子山と日本の国民党中央軍偵察機との

一、朝鮮水陸軍警備隊が新川分駐所管内に三回偵察あり。

六、義州分駐所内。

一九四七年三月十五日午後十一時五分頃、義州分駐所管内新川分駐所管内の国民党中央軍の三つの不法射撃あり。機銃銃台を三回不法越境あり。我側保衛隊員

の死傷約三時間、結果、隊員三名重傷、自衛隊員九名、人民兵員負傷、四名

北朝鮮人民委員会事務局

北江口に中央軍の三つの不法射撃あり。

一九四七年三月十三日頃、海軍部管内新川分駐所対岸の駐屯地に中央軍の三つの不法射撃あり。不法越境あり。朝鮮人婦七人の射撃あり。

一九四七年三月十三日午後一時五分、海軍部管内新川分駐所対岸、地帯村の朝鮮側を向けての射撃あり。不法射撃あり。

五、朝鮮総督府内。

一九四七年三月十五日午後三時五分、中国の丁子山と日本の国民党中央軍偵察機との

一、朝鮮水陸軍警備隊が新川分駐所管内に三回偵察あり。

一九四七年三月十五日午後十一時五分頃、義州分駐所管内新川分駐所管内の国民党中央軍の三つの不法射撃あり。機銃銃台を三回不法越境あり。我側保衛隊員

の死傷約三時間、結果、隊員三名重傷、自衛隊員九名、人民兵員負傷、四名

北江口に中央軍の三つの不法射撃あり。

一九四七年三月十三日頃、海軍部管内新川分駐所対岸の駐屯地に中央軍の三つの不法射撃あり。不法越境あり。朝鮮人婦七人の射撃あり。

鴨綠江對岸中米軍不法行為の調査材料

一、九月四日、五日、六日午後一時頃、江界縣滿洲里管内美地界の江中米軍、不法の不法越境行為、朝鮮人民の被害行為、一、故郷留守行為、

二、九月四日、五日、六日午後一時頃、滿洲里管内美地界の江中米軍、不法の不法越境行為、但被害行為、

三、九月四日、五日、六日午後一時頃、美地界管内の武裝中米軍の不法越境行為、保護隊員の被害行為、被害行為、

四、九月四日、五日、六日午後一時頃、美地界管内の國民兵特務隊の被害行為、被害行為、被害行為、

五、九月四日、五日、六日午後一時頃、中國所屬不明部隊の被害行為、被害行為、被害行為、

六、九月四日、五日、六日午後一時頃、國民兵中米軍の我國側互力の向きの被害行為、江域の原木運搬活動、被害行為、

北朝鮮人民委員會外務局

七、九月四日、五日、六日午後一時頃、原木運搬行為、上陸軍の向きの被害行為、中米軍の不法越境行為、上陸軍の被害行為、

八、九月四日、五日、六日午後一時頃、中米軍の被害行為、被害行為、被害行為、是れ中米軍の被害行為、被害行為、被害行為、

九、九月四日、五日、六日午後一時頃、滿洲里管内中米軍の被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、

一〇、九月四日、五日、六日午後一時頃、朝鮮人民の被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、

一一、九月四日、五日、六日午後一時頃、朝鮮人民の被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、

一二、九月四日、五日、六日午後一時頃、朝鮮人民の被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、被害行為、

北朝鮮人民委員會外務局

SHIPPING ADVICE # 2006
Box # 11 / 1870 / 11
ITEM # 36 [scribble]

Batch No. 187
Item No. 11

113 [scribble]